
障がい児保育に関するアンケート調査結果報告書

【中間報告書】

平成 22 年 1 月
熊本市自立支援協議会
子ども部会

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法の概要	1
3	調査結果の分析を読む際の注意点	1
II	アンケート調査結果の概要	2
1	回答者（保育園・幼稚園、保育士・教諭）の属性	2
2	障がい児の受け入れ・担当の状況	6
3	障がい児の受け入れ・担当の意向	9
4	障がい児・気になる子の状況	15
5	障がい児保育・特別支援教育に対する補助制度等について	23
6	判定意見書等について	25
7	障がい児保育等に対する支援全般について	27
8	手帳・障がい児保育補助金等の状況（別表）	28
9	資料編（アンケート調査票）	31

I 調査の概要

1 調査の目的

文部科学省の全国調査によると、通常学級に在籍する児童の6.3%が個別の支援を必要としています。保育園、幼稚園の現場からも「保育を進めていく上で、どのようにしたらよいのか、子どもへの対応、保育での工夫、環境作りなど分からず不安。また、そうした子どもの様子をいかに親に伝えるかが難しい」といった声が非常に多く、保育現場の緊張が高まっています。

これらの問題について、現場の実態を明らかにし、対応策を検討するために実施しました。

2 調査方法の概要

種 類	園長用アンケート調査	保育士・教諭用アンケート調査
対象者	市内の認可保育園・幼稚園園長	市内の認可保育園・幼稚園の保育士・教諭
調査時期	平成21年11月	
調査方法	郵送配布・郵送回収	
配布票数	172票(全数調査)	— (各園から5名程度の保育士・教諭)
回収票数	146票(84.8%)	700票

※各年齢(学年)の人数(母数)比率に応じた年齢・地域毎の無作為抽出。

3 調査結果の分析を読む際の注意点

- 1 分析文中では、「園長用アンケート調査」の結果を「園長」と表しています。以下同様に、「保育士・教諭用アンケート」の結果を「担任」と表しています。

※質問項目に付記した「園1」などの記号は調査票の問番号を表しています。園1は「園長用アンケート」の「問1」のことです。また、担は「保育士・教諭用アンケート」の設問です。

【グラフの表記】

- ・単 数 回 答 : 選択肢の中から1つを回答する設問。なお、グラフや表の割合は百分率(%)で小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります。
- ・複 数 回 答 : 選択肢の中から2つ以上を回答する設問。各選択肢の割合は、回答者数を母数にした割合であるため、合計が100.0%を超えています
- ・数 量 回 答 : 年齢や時間等、具体的な数値を記入する設問。なお、集計は数値を階層化して処理しています。
- ・限 定 設 問 : 例『問5で「1」と選んだ方のみお答えください』など、設問により回答者が限定される設問。
- ・標本数 (N,n) : 質問に対する無回答を含む集計対象総数で、割合算出の基準となる票数です。限定設問については、設問により基準となる票数が異なります。また、全員が回答する設問であっても、対象者を限定して集計している設問があります(グラフ表題に「限定処理」と表示)。
N(大文字) : 全数を対象に集計
N(小文字) : 限定設問(一部の対象者が回答する設問)
- ・クロス集計 : 2つ以上の質問項目を掛け合わせて集計する方法。図表(「表側(設問)×表頭(設問)」で表示)の表側(分類層)は無回答を除いているため、各層の実数と集計対象総数が一致しないことがあります。

Ⅱ アンケート調査結果の概要

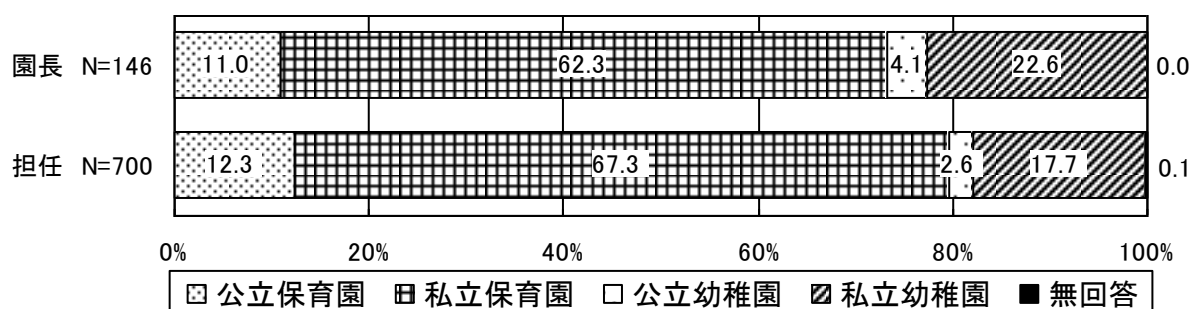
1 回答者（保育園・幼稚園、保育士・教諭）の属性

● 貴園はつぎのうちどれにあてはまりますか。

園 1 担 1

- ・園長、担任ともに「私立保育園」が最も多くなっています。
- ・園長と担任を比較すると、幼稚園の割合が低いのは、3歳未満児のクラスが無い場合、回答者である教諭数が少ないと想定できます。

図表 1 園の種別（単数回答）

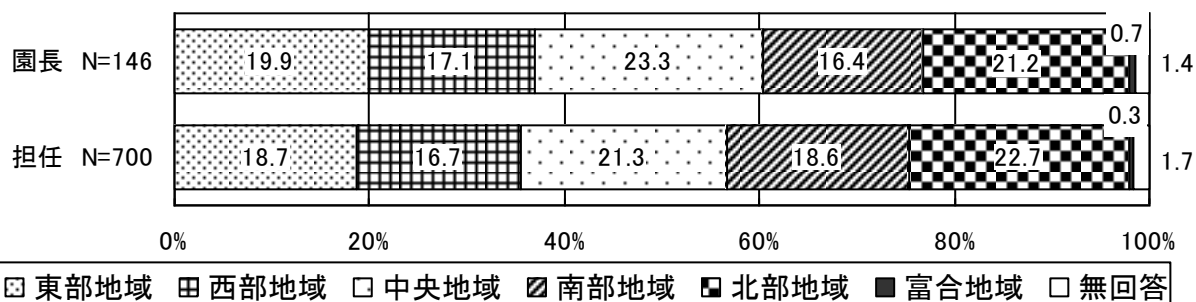


● 貴園の所在地（地域）を教えてください。

園 2 担 2

- ・「南部地域」「北部地域」がそれぞれ2割強となっています。一方、「富合地域」は1%弱となっています。

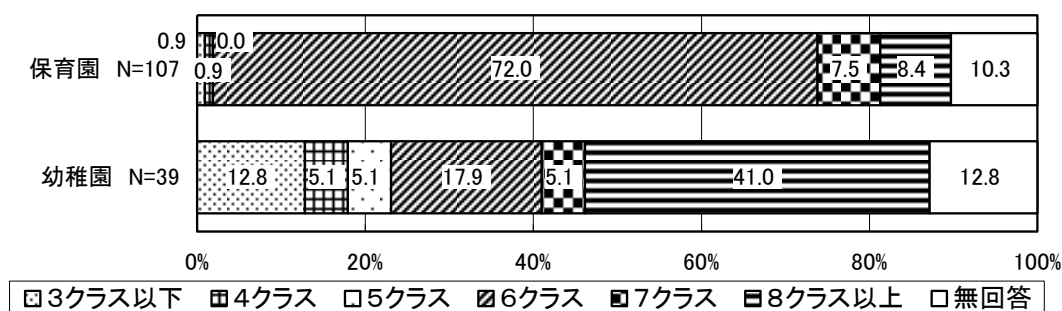
図表 2 園の所在地（単数回答）



● 貴園のクラス数、在籍園児数（10月1日現在）を教えてください。 園 3

- ・ 保育園では「6クラス」が7割強、幼稚園では「8クラス」が4割強、「6クラス」が2割弱となっています。

図表 3 在園児数 （単数回答）

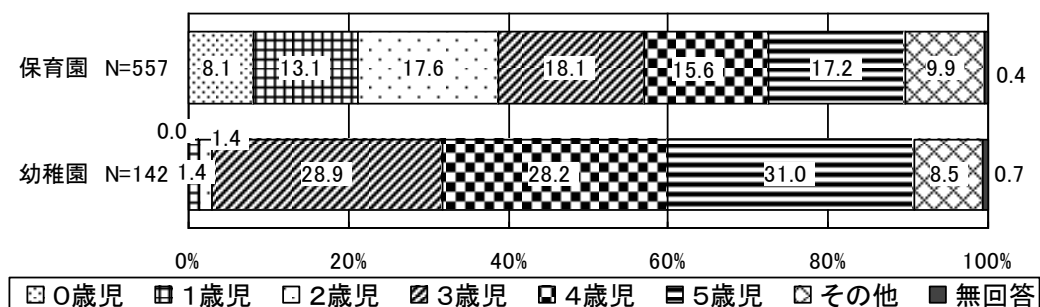


● 先生が担当しているクラスを教えてください。 担 3

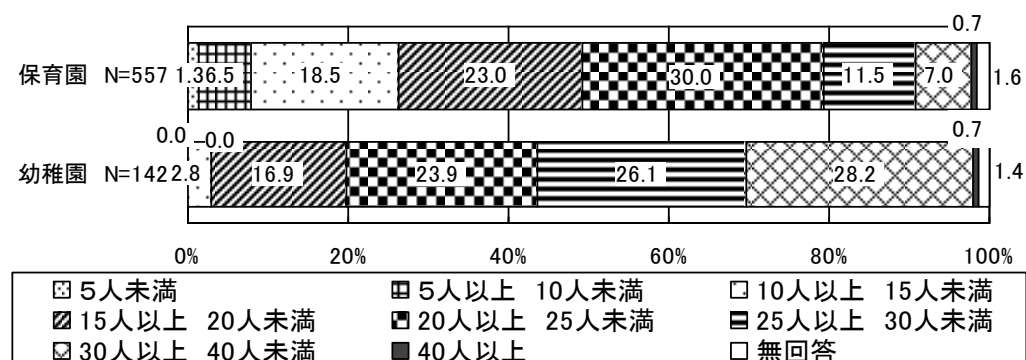
● 先生が担当している「クラスの人数」（10月1日現在）を教えてください。 担 4

- ・ 保育園では、「0歳児」以外は「5歳児」「2歳児」の担当が多くなっています。
- ・ 幼稚園では、3～5歳の割合が同程度となっています。

図表 4 担当クラス （単数回答）



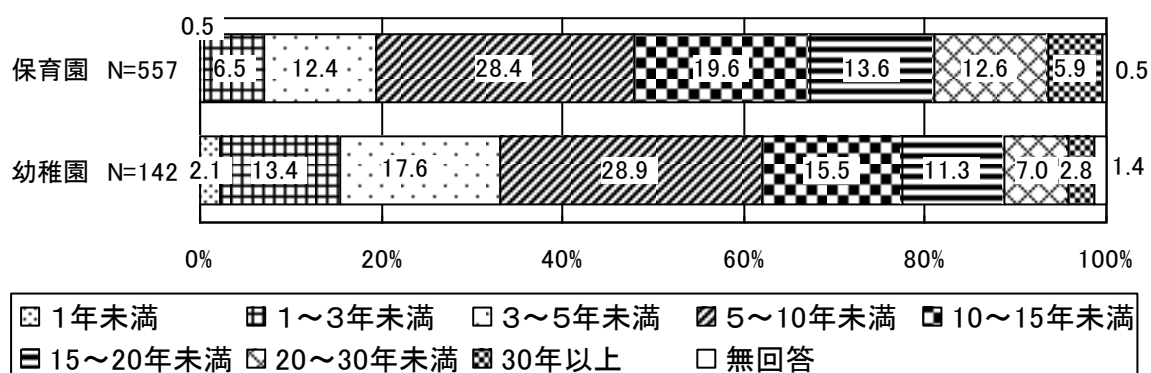
図表 5 担当クラスの人数 （単数回答）



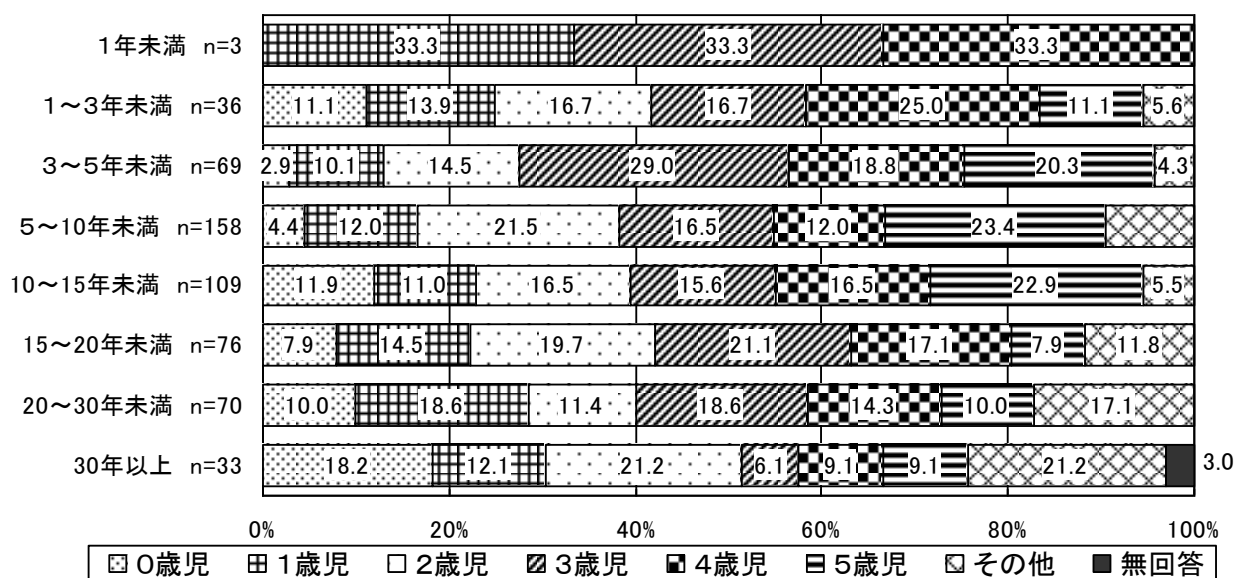
● 先生の「保育士又は教諭としての経験年数」を教えてください。 担5

- ・ 保育園、幼稚園ともに「5～10年未満」がともに3割弱と、最も多くなっています。
- ・ 保育士の経験年数と担当クラスの関係を見ると、経験年数が長くなるほど、0～2歳児の割合や、「その他（複数学年等）」の割合が高くなっています。

図表6 経験年数 （数量回答）



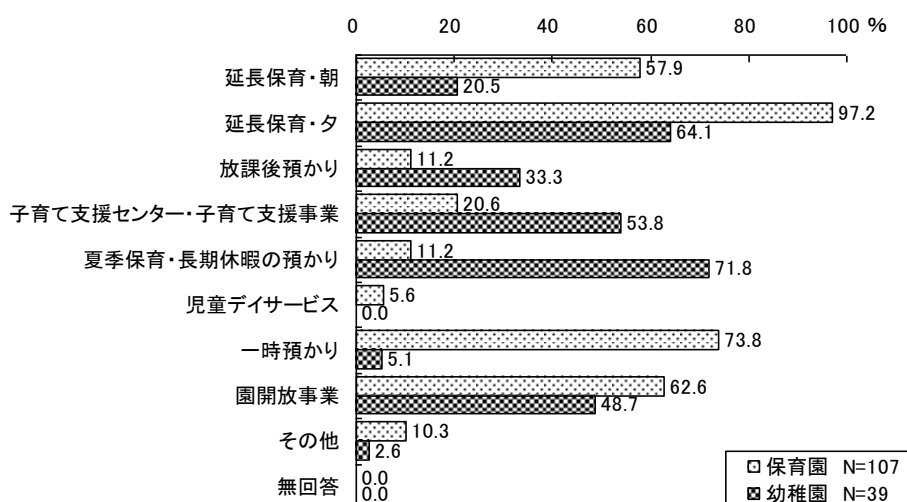
図表7 保育士 経験年数と担当クラスの関係 （単数回答）



- 現在、貴園ではどのような保育サービスを行っていますか。 園 4
- 前問の保育サービスを行うための人員体制についてお尋ねします。園 5

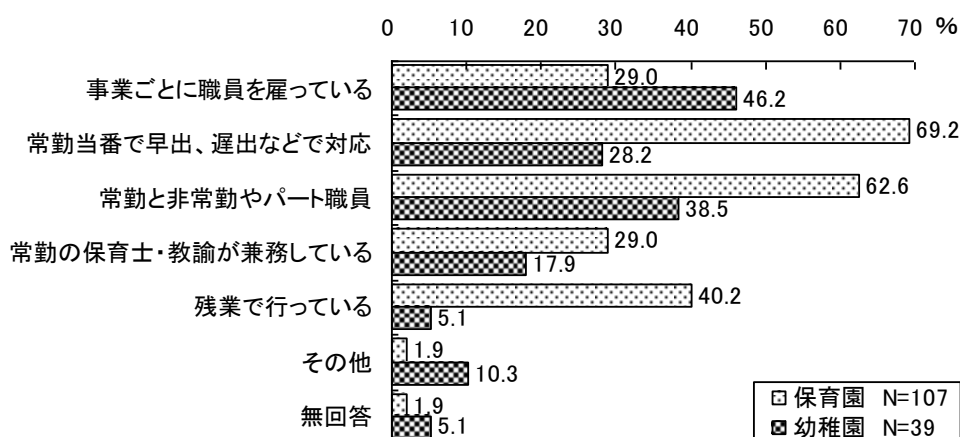
- ・ 保育園においては、殆どの園で「延長保育・夕方」を実施しています。次いで、「一時預かり」が3／4弱、「園開放事業」が6割強、「延長保育・朝」が6割弱となっています。
- ・ 幼稚園においては、「夏期保育・長期休暇の預かり」が7割強と最も多くなっています。次いで、「延長保育・夕」が2／3、「子育て支援センター・子育て支援事業」が半数強、「園開放事業」が半数弱となっています。

図表 8 実施中の保育サービス（複数回答）



- ・ 保育サービスの人員体制をみると、保育園では「常勤の保育士・教諭が当番で早出、遅出などの勤務を行っている」が7割弱、「常勤の保育士・教諭が一人以上入り、非常勤やパート職員と一緒にいる」が6割強となっています。
- ・ 幼稚園では、「それぞれの事業ごとに（常勤、非常勤、パート）職員を雇っている」が半数弱、「常勤の保育士・教諭が一人以上入り、非常勤やパート職員と一緒にいる」が4割弱となっています。

図表 9 保育サービスを行うための人員体制（複数回答）

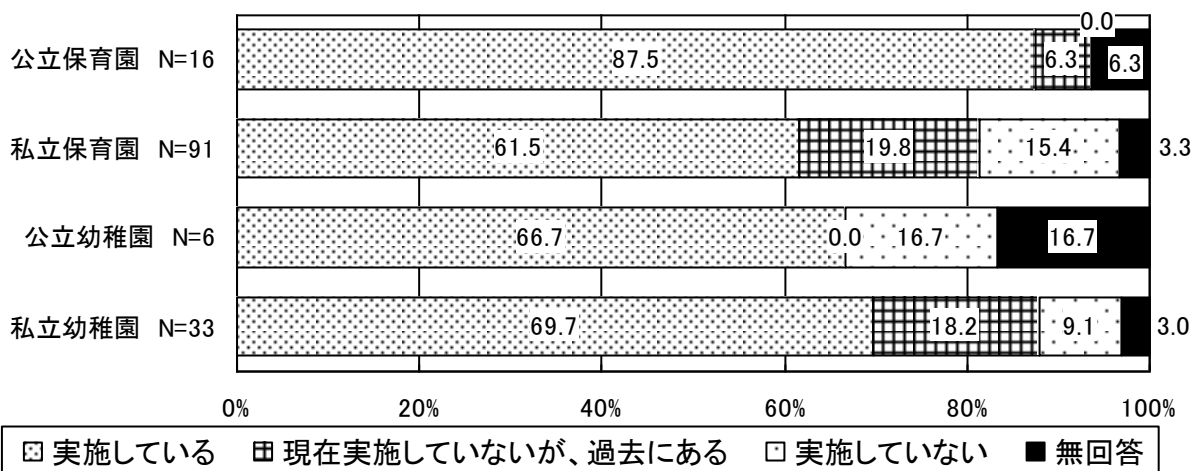


2 障がい児の受け入れ・担当の状況

- 現在、貴園では障がい児保育・特別支援教育を実施していますか。 園 6
- 現在、障がい児保育を実施していない理由を教えてください。 園 6－1

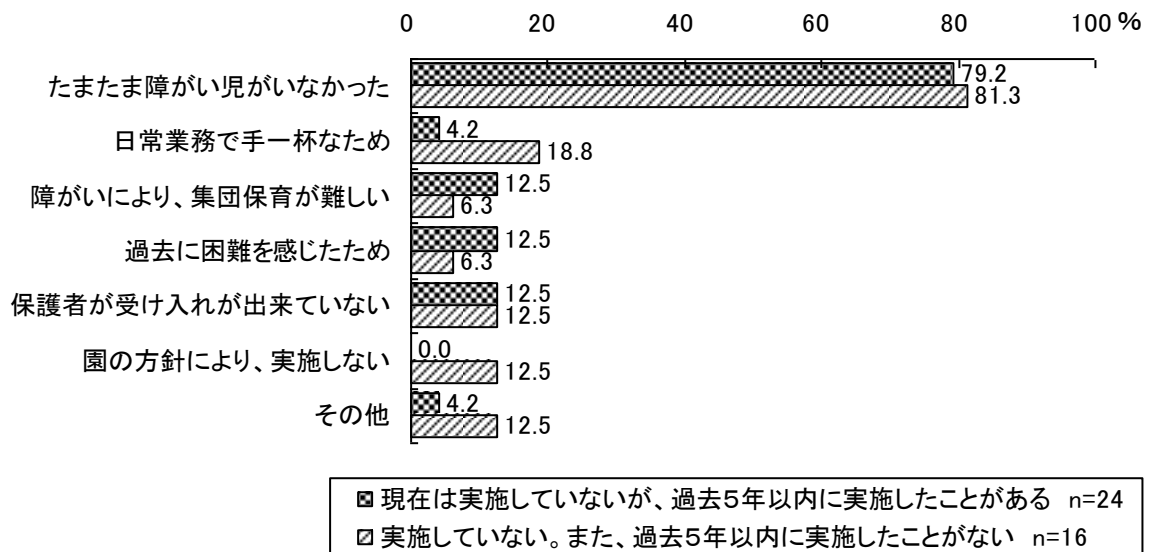
- ・公立保育園では9割弱が、障がい児保育・特別支援教育を実施しています。また、私立保育園、私立幼稚園では、「現在は実施していないが、過去5年以内に実施したことがある」（2割弱）を含めると、8割以上の園で実施しています。

図表 10 園の種類×障がい児保育・特別支援教育実施の有無／園長（複数回答）



- ・現在、実施していない理由は、『現在実施していない園』及び『過去にも実施したことがない園』ともに「たまたま障がい児がいなかった」が8割と、最も多くなっています。

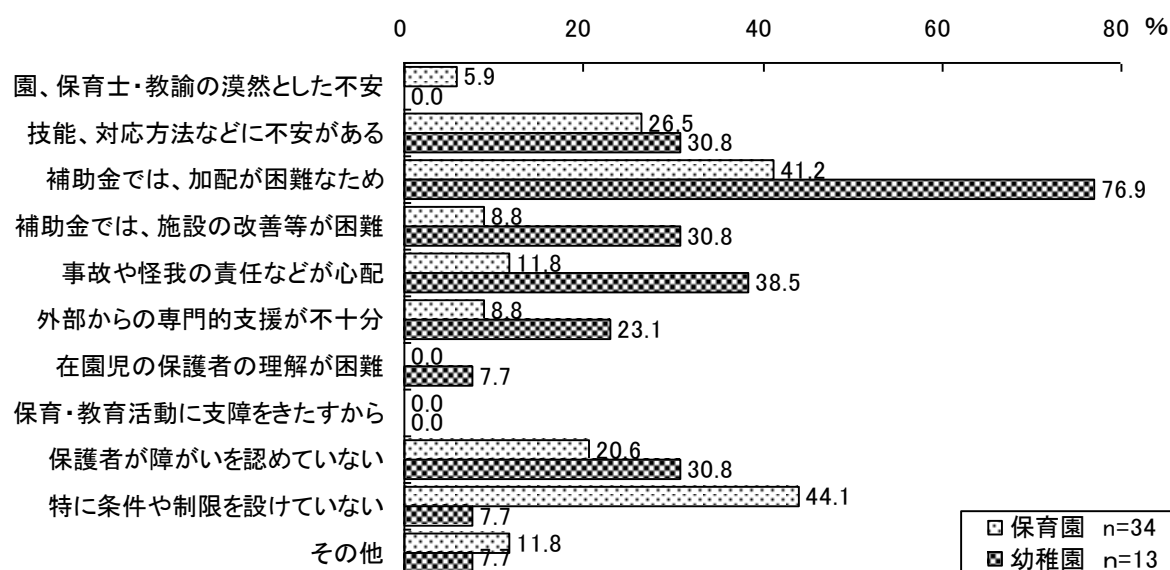
図表 11 過去の実施の有無×障がい児保育を実施していない理由（複数回答）



- 障がい児保育を実施しない、または、受け入れに条件や制限を行っている理由を教えてください。（複数回答可・〇は3つまで） 園 7

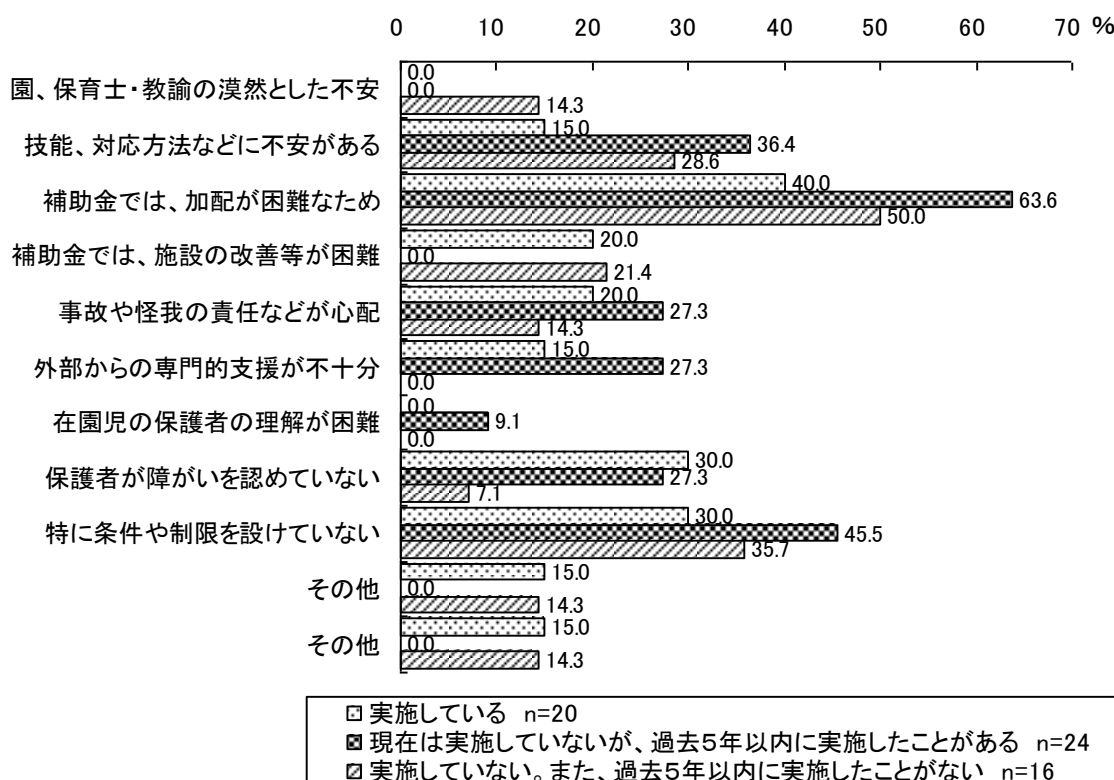
- ・「障がい児保育の補助金では、保育士・教諭の加配が困難なため」が最も多く、幼稚園では8割弱、保育園では4割強となっています。とくに、現在実施中の園では4割であるのに対し、過去に実施したことがある園では6割強となっており、補助金や加配を求める声が多くなっています。

図表 1 2 園の種類×障がい児保育を実施しない、受け入れ制限の理由（複数回答）



※無回答を除く 構成比

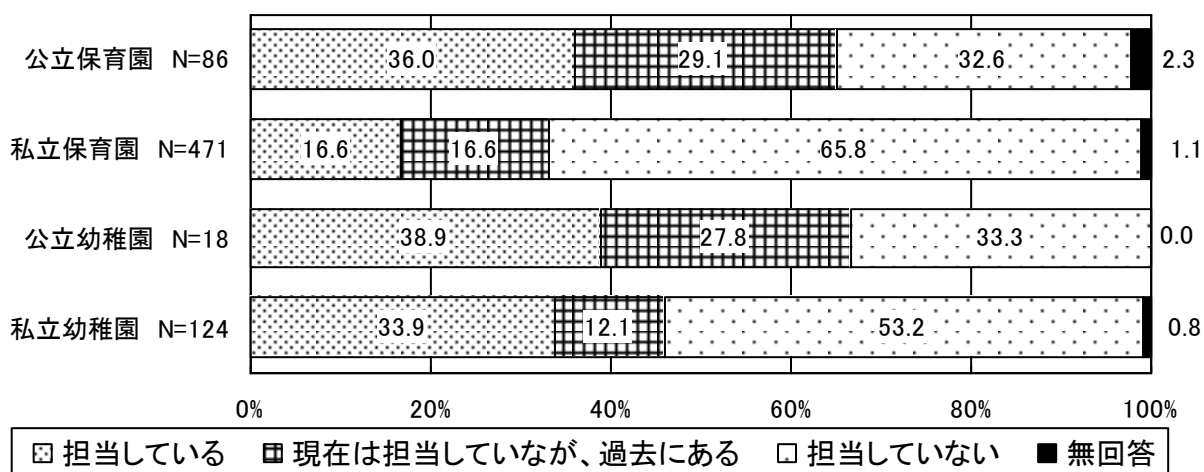
図表 1 3 実施の有無×障がい児保育を実施しない、受け入れ制限の理由（複数回答）



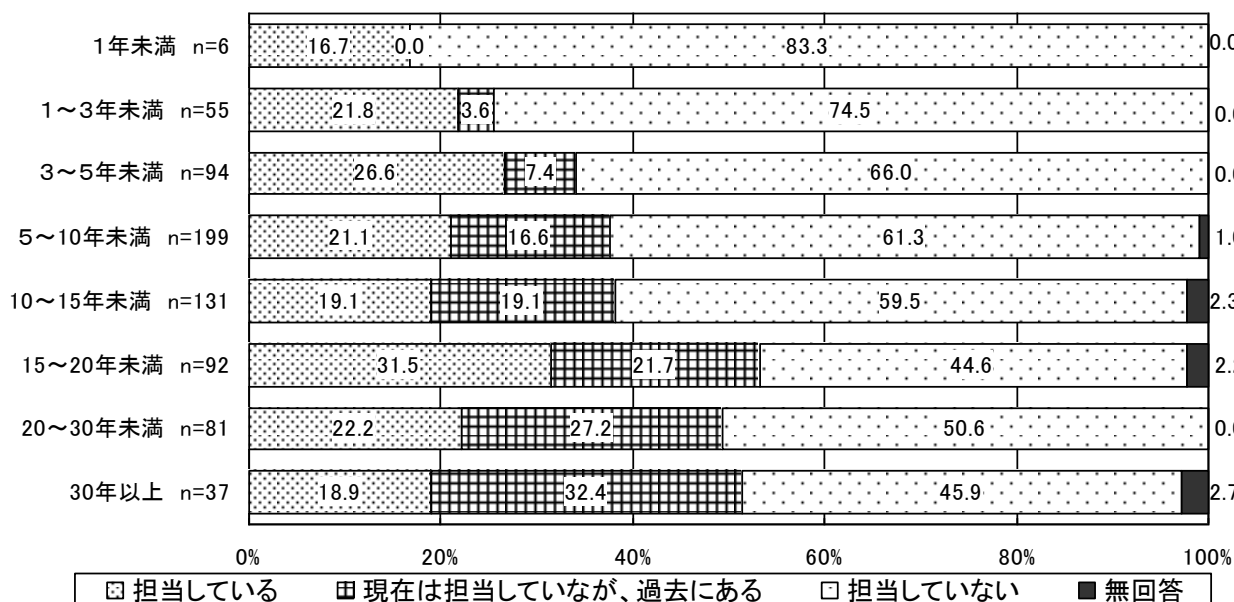
● 現在、先生は障がい児保育・特別支援教育を担当していますか。 担6

- ・私立保育園においては、担当したことが無い割合が低くなっています。
- ・「現在は担当していなが、過去5年以内に担当したことがある」を含めると、公立園で担当したことがある割合が高くなっています。
- ・15年以上の経験者の半数程度が、「(現在) 担当している」又は「現在は担当していなが、過去5年以内に担当したことがある」と回答しています。

図表 1 4 園の種類×障がい児保育・特別支援教育実施の有無（単数回答）



図表 1 5 経験年数×障がい児保育・特別支援教育実施の有無（回答）

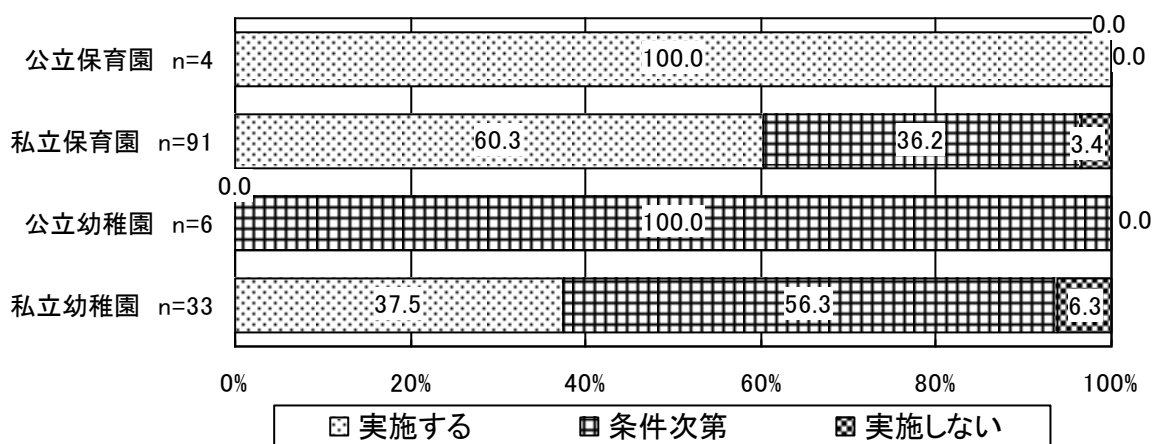


3 障がい児の受け入れ・担当の意向

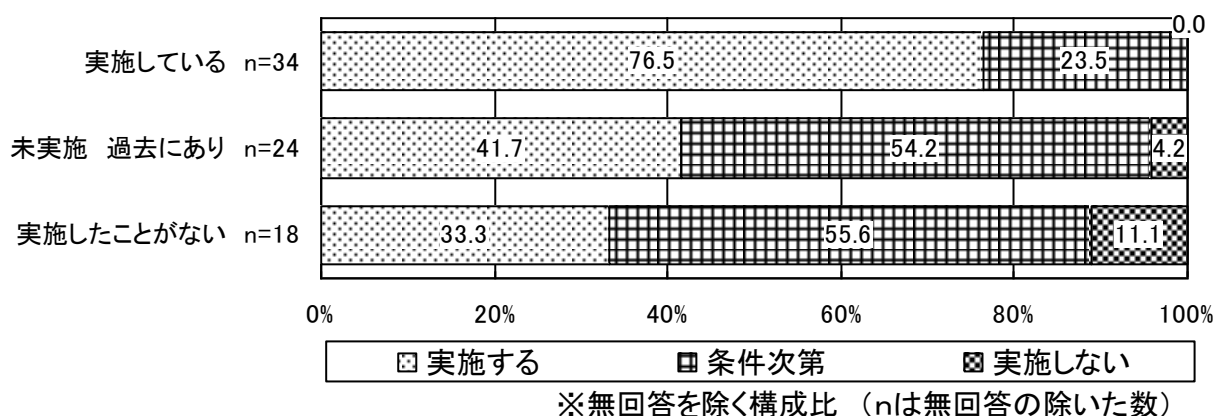
- 今後、機会があった時、障がい児保育を実施することは、ありますか。 園8

- ・無回答を除く全ての公立保育園（4園）では「実施する」と回答しているのに対し、全ての公立幼稚園（6園）で「条件次第」と回答しています。
- ・現在障がい児保育等を実施している園（34園）の3／4が「(今後も)実施する」と回答しています。一方、実施したことがない園（18園）では1割強が「実施しない」と回答しています。

図表16 園の種別×障がい児保育等の実施の意向（単数回答）



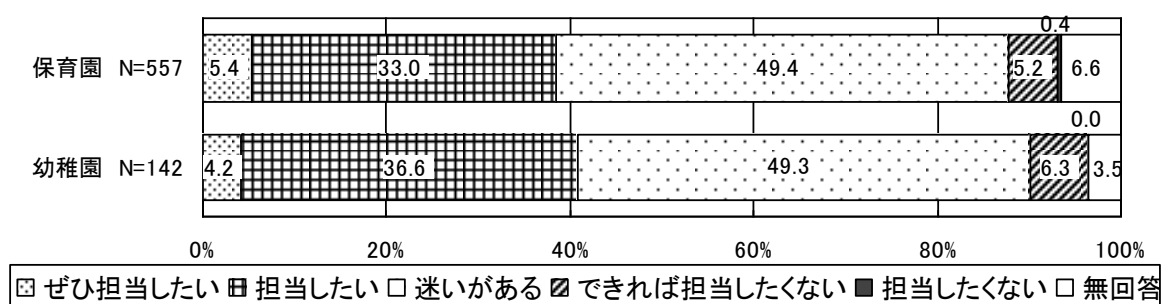
図表17 実施の有無別×障がい児保育等の実施の意向（単数回答）



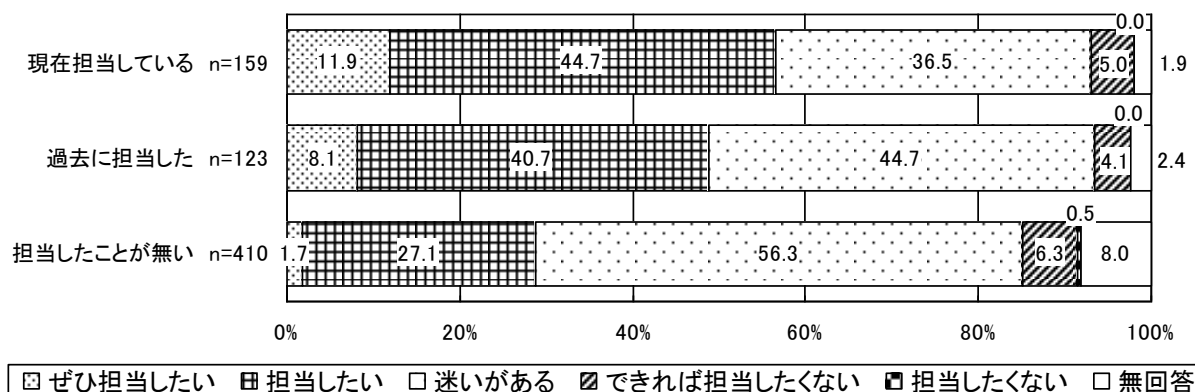
● 現在、障がい児保育を担当している先生は、今後も担当したいと思いますか。また、現在は担当していない先生は、障がい児保育を担当したいと思いますか。 担7

- ・保育園・幼稚園ともに「ぜひ担当したい・担当したい」がともに4割弱となっています。
- ・現在障がい児保育を担当している人では「ぜひ担当したい・担当したい」が6割弱であるのに対し、担当したことが無い人では3割弱となっています。一方、「できれば担当したくない・担当したくない」は、経験の有無に関わらず5%程度となっています。

図表18 園の種類×障がい児保育等の担当の意向（単数回答）



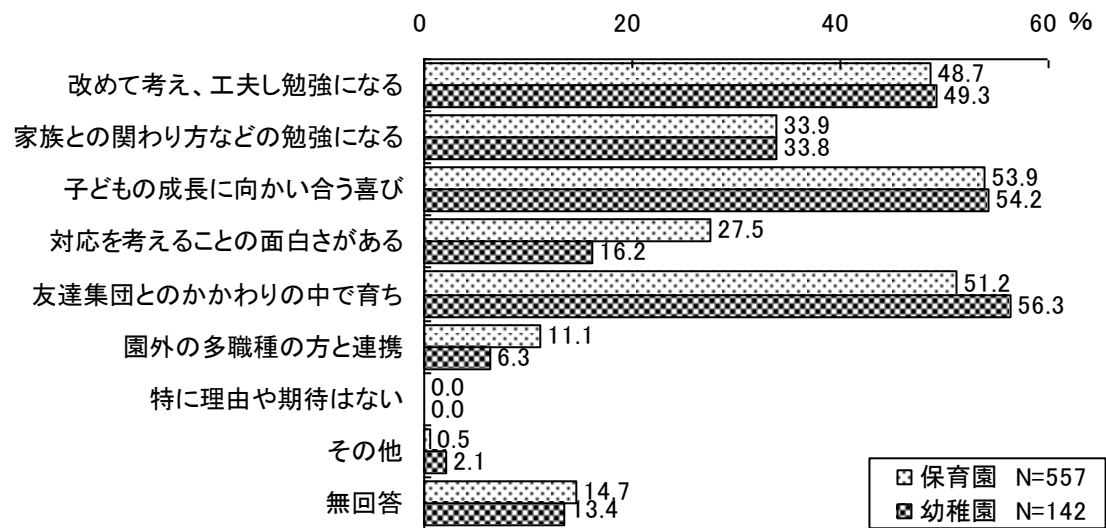
図表19 実施の有無×障がい児保育等の担当の意向（単数回答）



● 障がい児保育を担当したいと思う理由、或いは、担当した場合、どのようなことが期待できますか。 担8

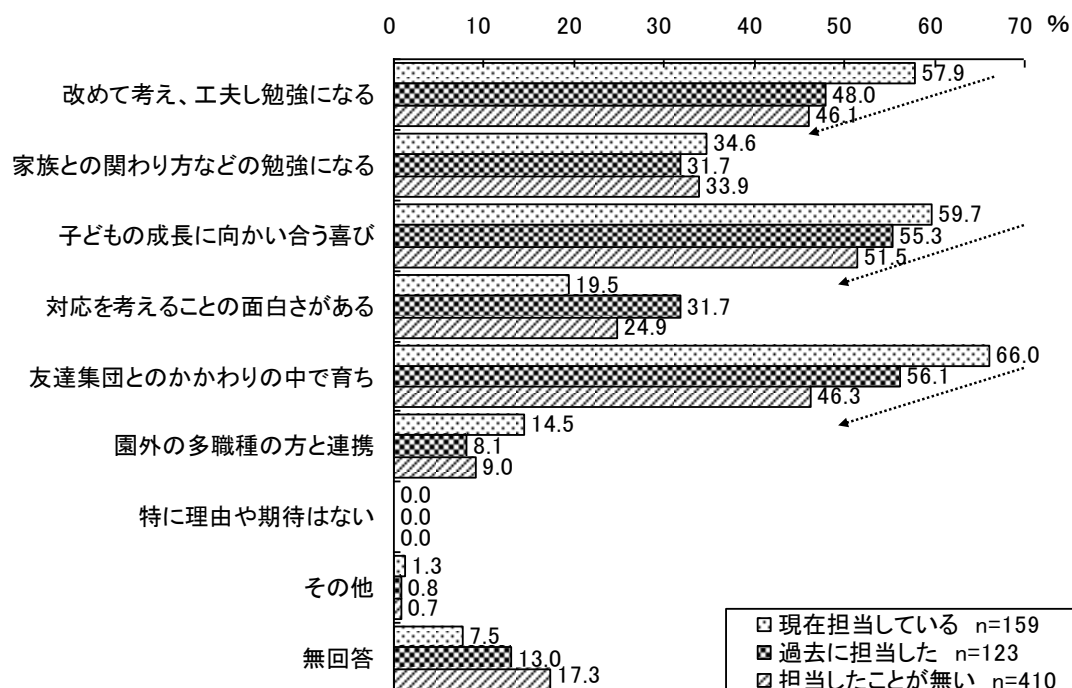
・「障がいのある子どもも、他の子どもと違う異質な存在ではなく、多くの共通性があり周りの環境や友達集団とのかかわりの中で育ち合っていくことが分かる（分かった）」「母親や家族と園が連携しながら、一人の子どもの成長に向かい合うことの大切さと喜びが分かる（分かった）」がともに5割強、「日ごろ見逃してしまいそうなことも、改めて考え、工夫し勉強になる（なった）」が5割弱、「母親の気持ちや、家族のあり方、役割がよく分かり、保育士・教諭としての家族との関わり方やアドバイスの仕方などの勉強になる（なった）」が1／3となっています。

図表 2 0 園の種類×障がい児保育を担当したいと思う理由 （複数回答）

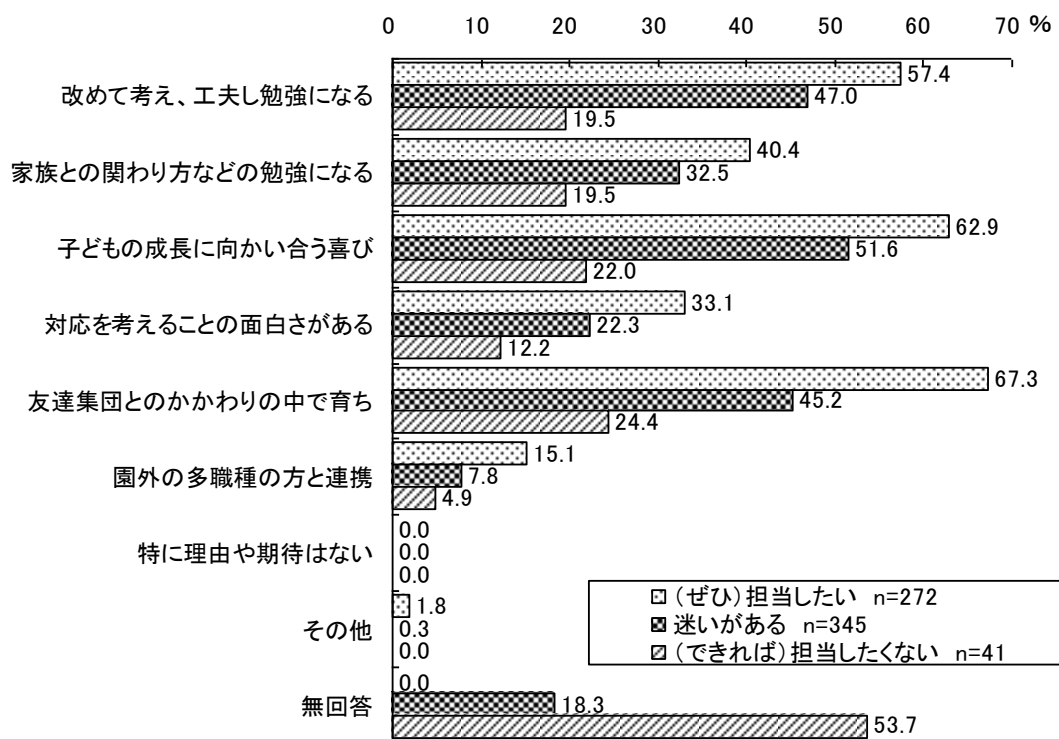


- ・『担当したことが無い』と思っている人よりも、『(現在) 担当している』と思っている人の方が、期待が高くなっています。
- ・同様に、『(ぜひ) 担当したい』と思っている人の方が、『迷いがある』や『(できれば) 担当したくない』と思っている人よりも期待が高くなっています。

図表 2 1 経験の有無×障がい児保育を担当したいと思う理由 (複数回答)



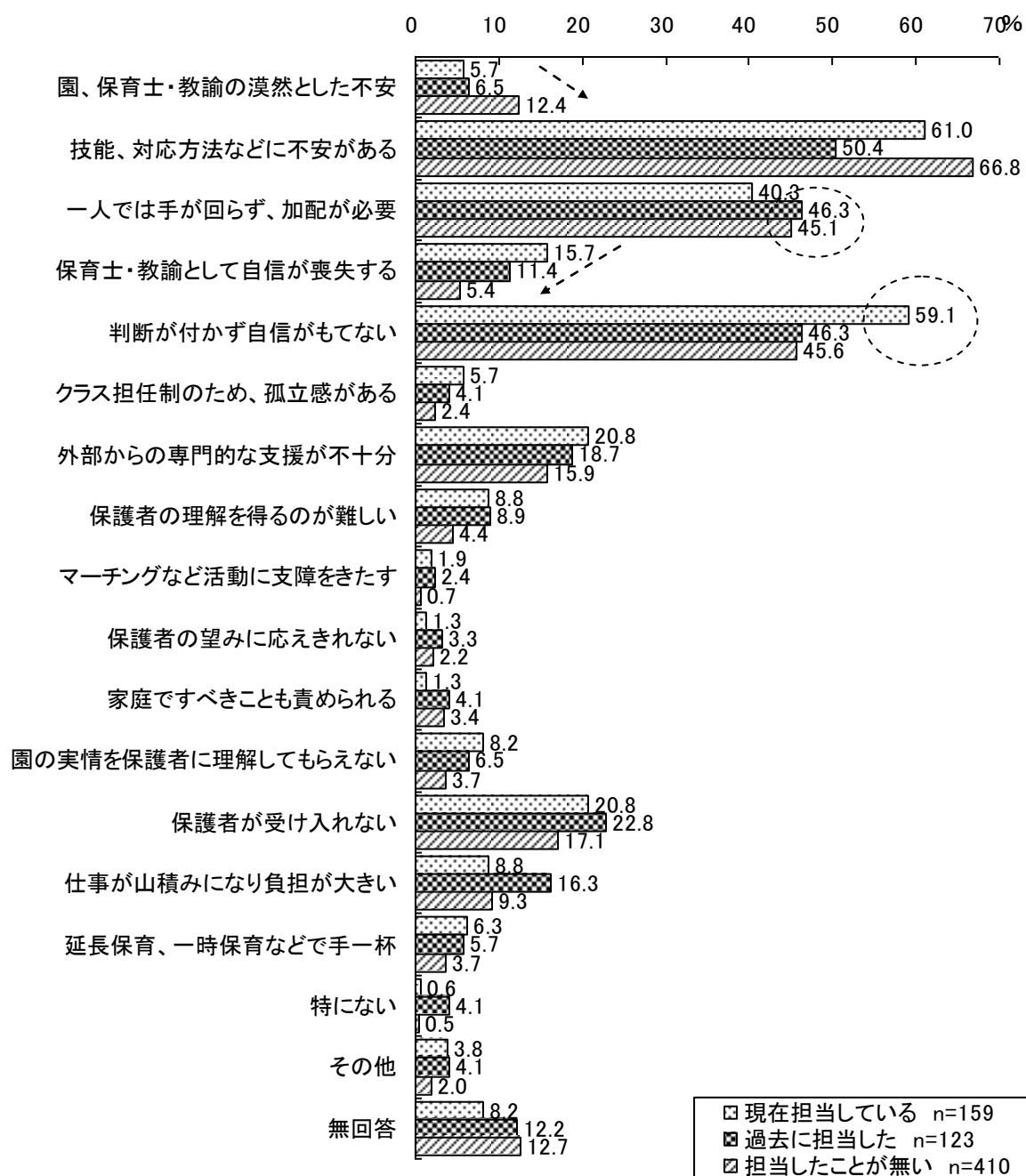
図表 2 2 担当の希望の有無×障がい児保育を担当したいと思う理由 (複数回答)



● 障がい児保育を担当するうえでの不安、或いは、担当したくないと思う理由を教えてください。 担9

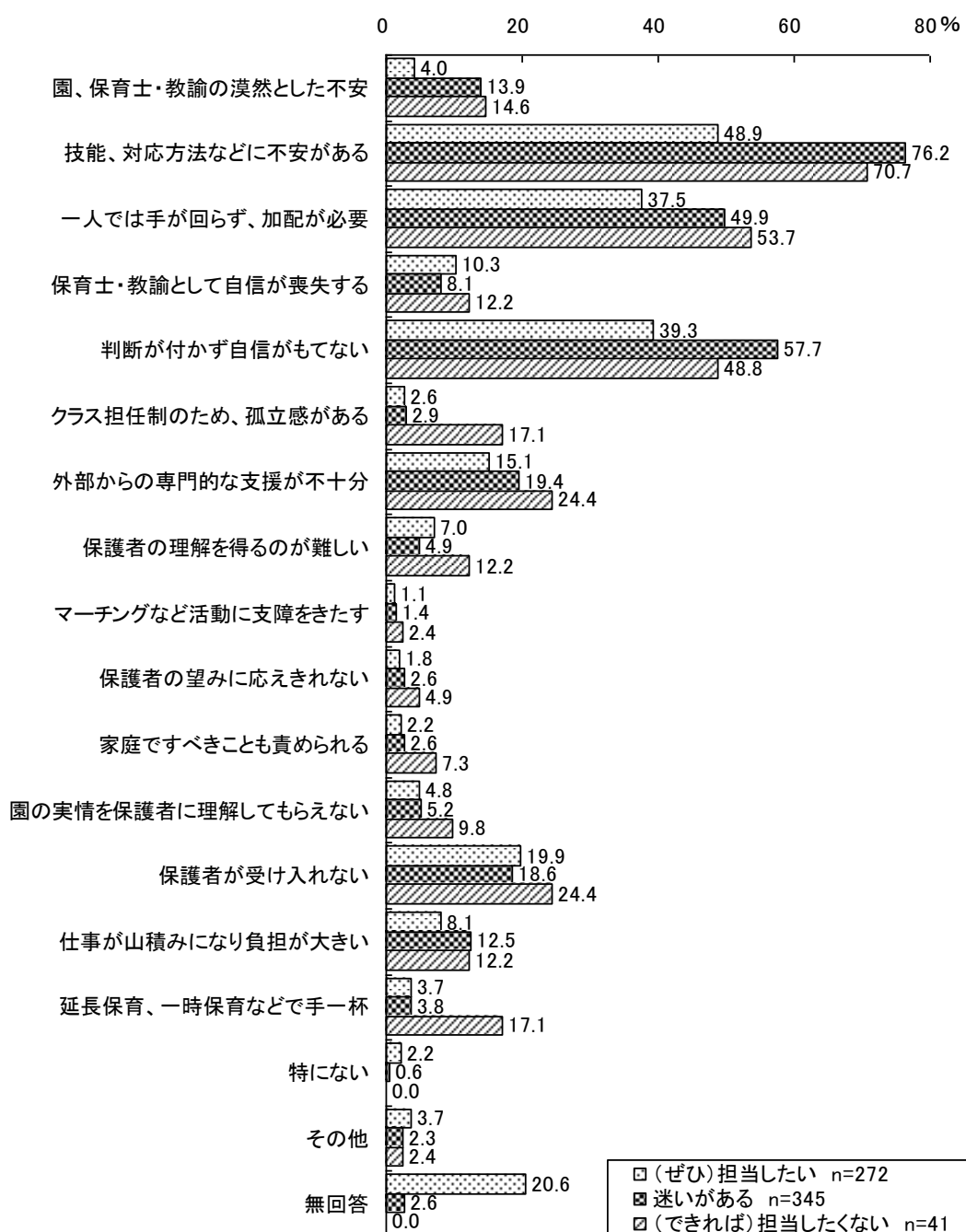
- ・「障がいに関する知識や障がい児保育に関する技能、対応方法などに不安がある」「自分がしていることが正しいのか誤っているのか判断がつかず自信がもてない」「一人担任では手が回らず、危険も伴い、事故などが心配なため、加配が必要」などに対する不安等が大きくなっています。
- ・「自分がしていることが正しいのか誤っているのか判断がつかず自信がもてない」ことについては、現に担当している人の方が不安を抱えている割合が大きくなっています。

図表 2 3 担当するうえでの不安等（複数回答）



- ・『(ぜひ) 担当したい』と思っている人の方が、『(できれば) 担当したくない』と思っている人よりも、不安が少なくなっています。
- ・「障がいに関する知識や障がい児保育に関する技能、対応方法などに不安がある」「自分がしていることが正しいのか誤っているのか判断が付かず自信がもてない」については、『(できれば) 担当したくない』と思っている先生よりも、『迷いがある』先生の方が不安を抱いている割合が高くなっています。
- ・一方、「保護者が受け入れない」については、『(できれば) 担当したくない』と思っている先生での割合がやや高いものの、同程度の割合となっています。

図表 2 4 担当の希望の有無×担当するうえでの不安等（複数回答）

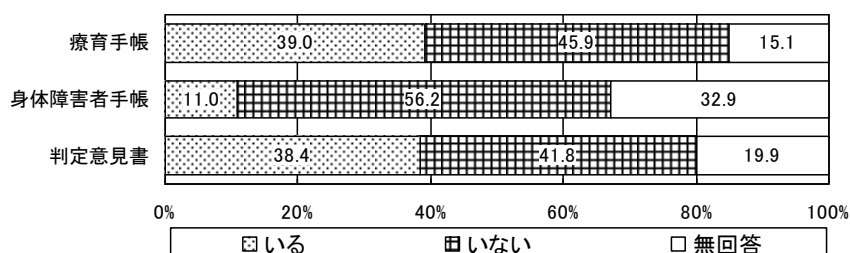


4 障がい児・気になる子の状況

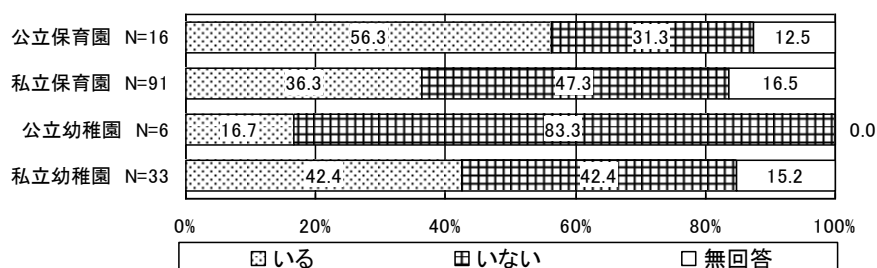
● 次の手帳等を所持している園児はいますか。園 9

- ・療育手帳、判定意見書がともに4割弱、身体障害者手帳が1割強となっています。
- ・療育手帳を所持している割合を園別にみると、公立保育園が6割弱、私立幼稚園が4割強、私立保育園が4割弱となっています。
- ・身体障害者手帳は、私立保育園での割合が1割弱と、他と比べてやや低くなっています。
- ・判定意見書は、公立保育園での割合が高くなっています。

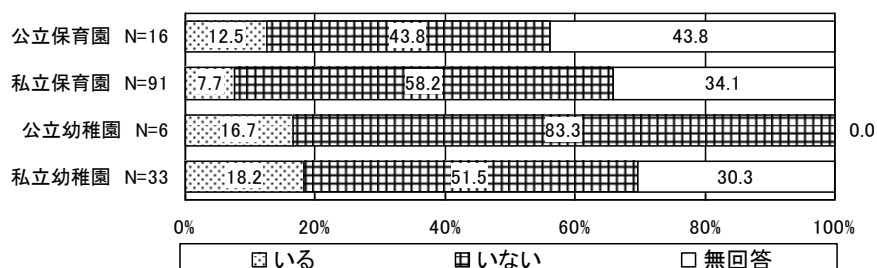
図表 2 5 手帳等を所持している園児の有無 (単数回答)



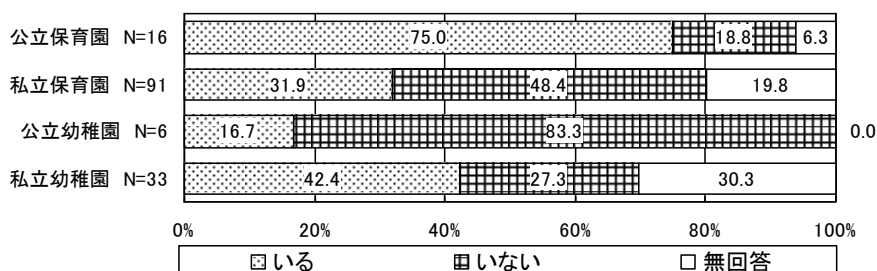
図表 2 6 公私園の種別・療育手帳等を所持している園児の有無 (単数回答)



図表 2 7 公私園の種別・身体障害者手帳等を所持している園児の有無 (単数回答)



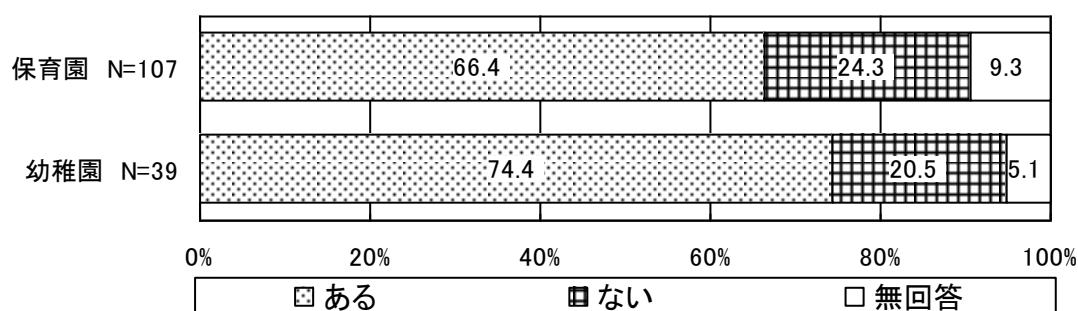
図表 2 8 公私園の種別・判定意見書がある園児の有無 (単数回答)



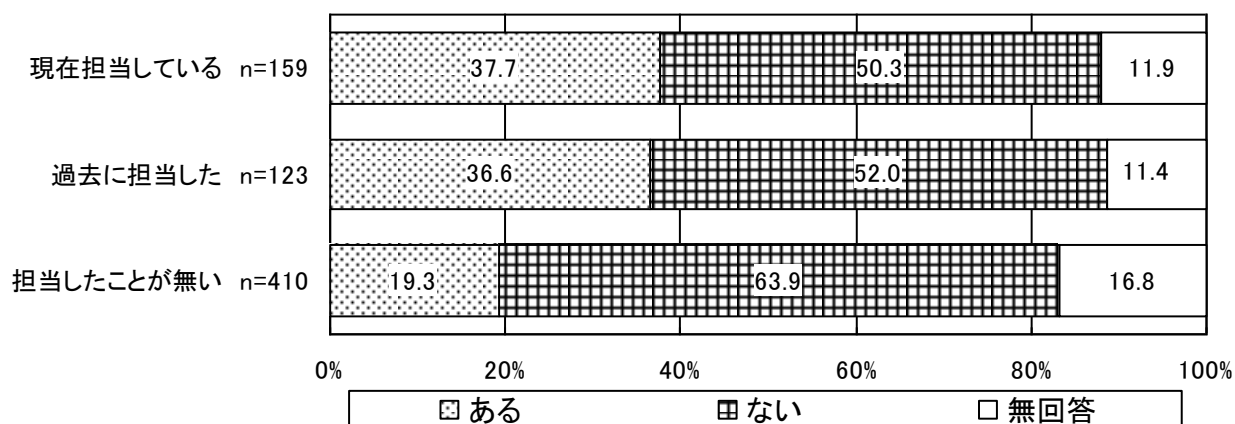
- 個別的な支援を要するお子さんの中で、各種手帳、判定書などの提出が無く、障がい児保育の補助金や加配の申請が行えないため、安全の確保や、クラスの保育に支障をきたしていることがありますか。 園14 担10
- 「ある」と回答した方は、その理由を教えてください。 園14-1 担10-1

- ・ 補助金や加配の申請が行えないため支障をきたすことは、保育園では2／3、幼稚園では3／4となっています。
- ・ 担任では、『(現在) 担当している』又は『現在は担当していなが、過去5年以内に担当したことがある』人の4割弱が「支障がある」と回答しています。

図表29 補助金や加配の申請が行えず、支障をきたすこと／園長 (単数回答)

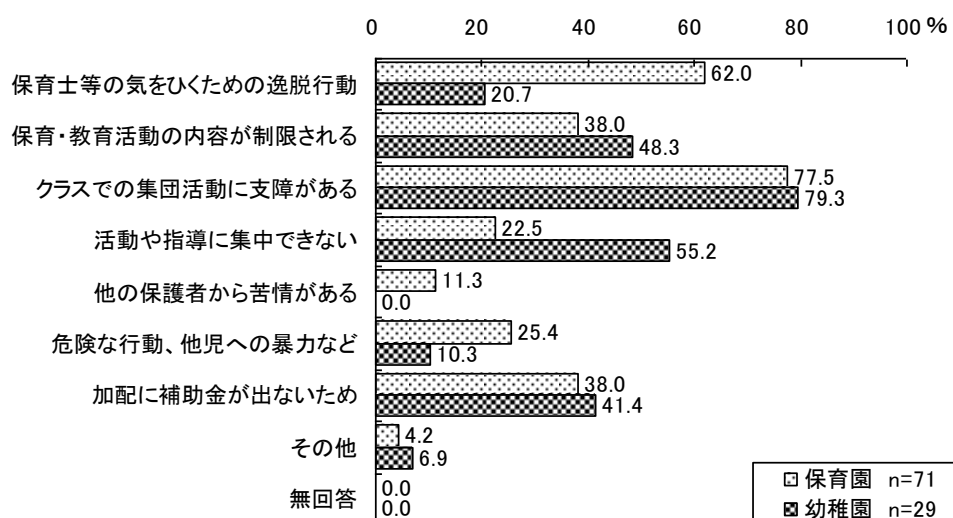


図表30 補助金や加配の申請が行えず、支障をきたすこと／担任 (単数回答)

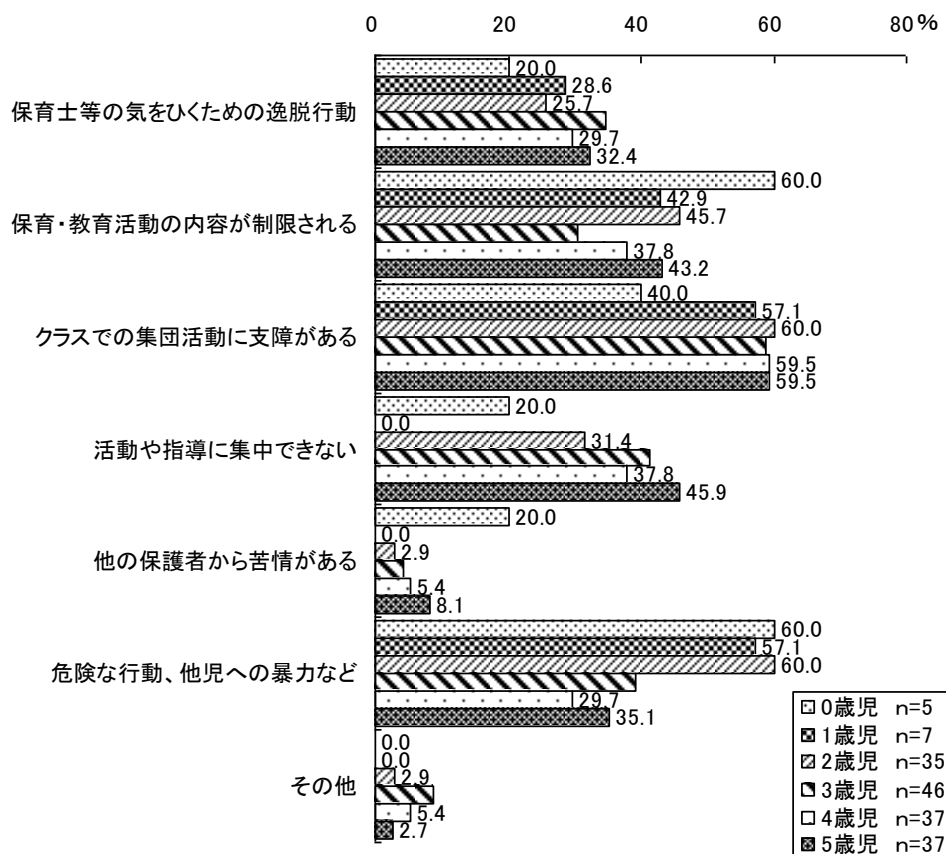


- ・保育園、幼稚園ともに「クラスでの集団活動に支障がある」が8割弱となっています。次いで、保育園では「保育士・教諭の気をひくための逸脱行動が多く、安心して保育・教育活動ができない」が6割強、幼稚園では「クラスでの集団活動に支障がある」が5割弱となっています。
- ・担任も同様に「クラスでの集団活動に支障がある」が最も多くなっています。また、「保育・教育活動の内容が制限される」「危険な行動、他児への暴力などが心配」「活動や指導に集中できない」については、年齢による違いが見られます。

図表 3 1 支障をきたす理由／園長 （単数回答）



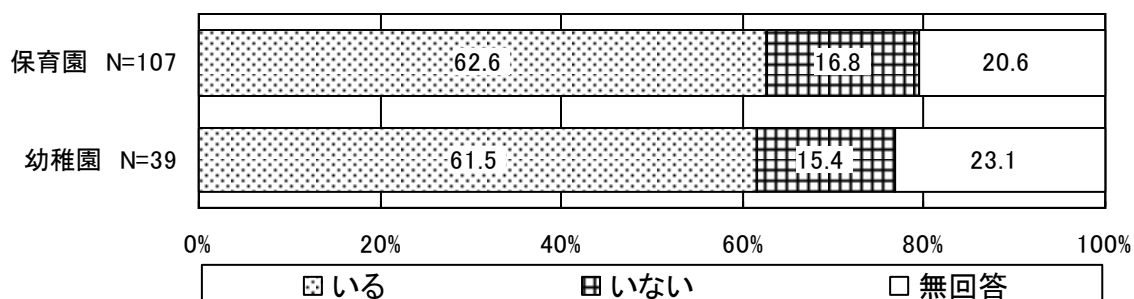
図表 3 2 支障をきたす理由／担任 （単数回答）



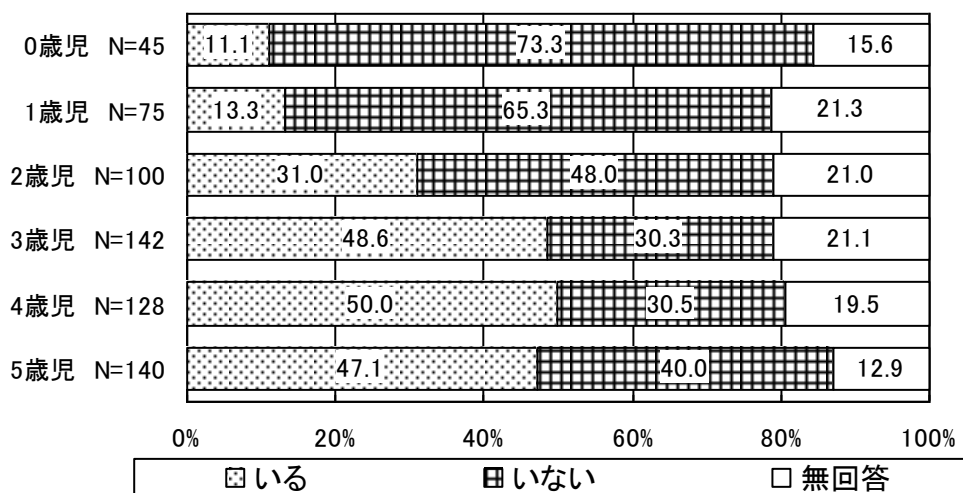
- 手帳も判定意見書も持たないが、先生が担当しているクラスに「(1)障がい疑われる子ども」、「(2)生活、親子・家族関係、虐待、情緒など気になる子ども」はいますか。園10 担11

- ・園で「(障がい疑われる子どもが) いる」割合は、保育園、幼稚園ともに6割強となっています。
- ・(担任の) 年齢別にみると、0～1歳児では1割強、2歳児では3割強、3～5歳児では半数前後となっています。

図表3-3 障がい疑われる子どもの有無／園長 (単数回答)

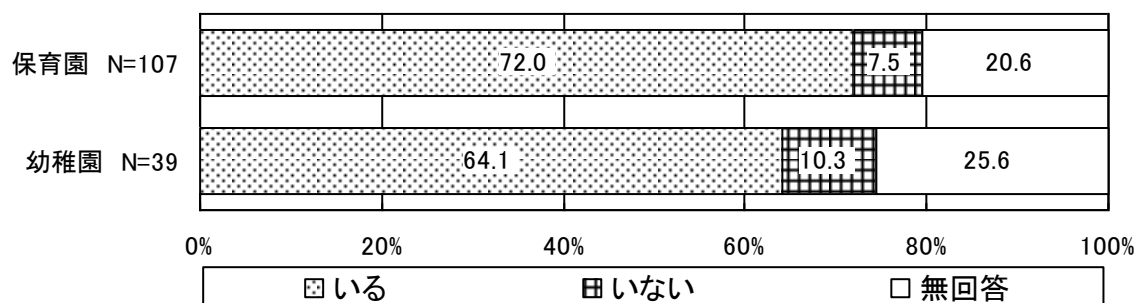


図表3-4 障がい疑われる子どもの有無／担任 (単数回答)

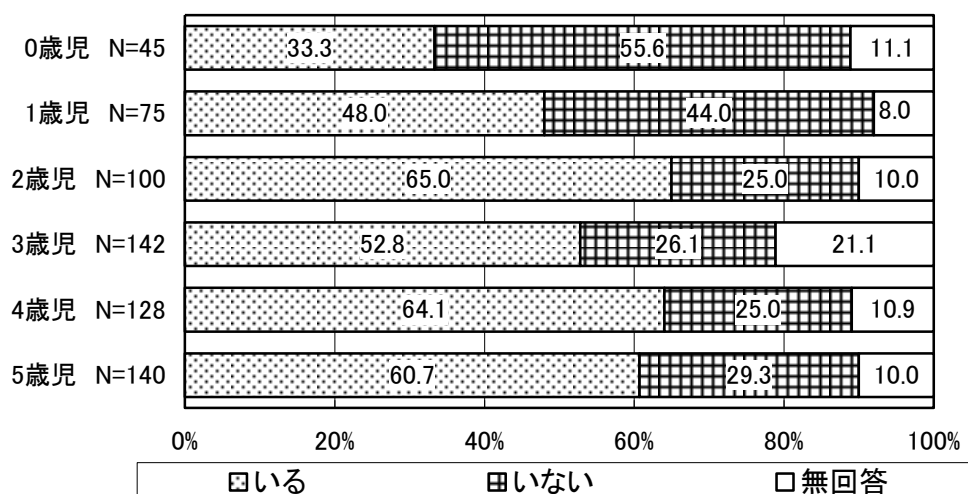


- ・園で「(気になる子どもが) いる」割合は、保育園で7割強、幼稚園で6割強となっています。
- ・(担任の) 年齢別にみると、0歳児は1／3、1歳及び3歳児では半数程度、2歳児、4・5歳児では6割強となっています。

図表 3 5 気になる子どもの有無／園長（単数回答）

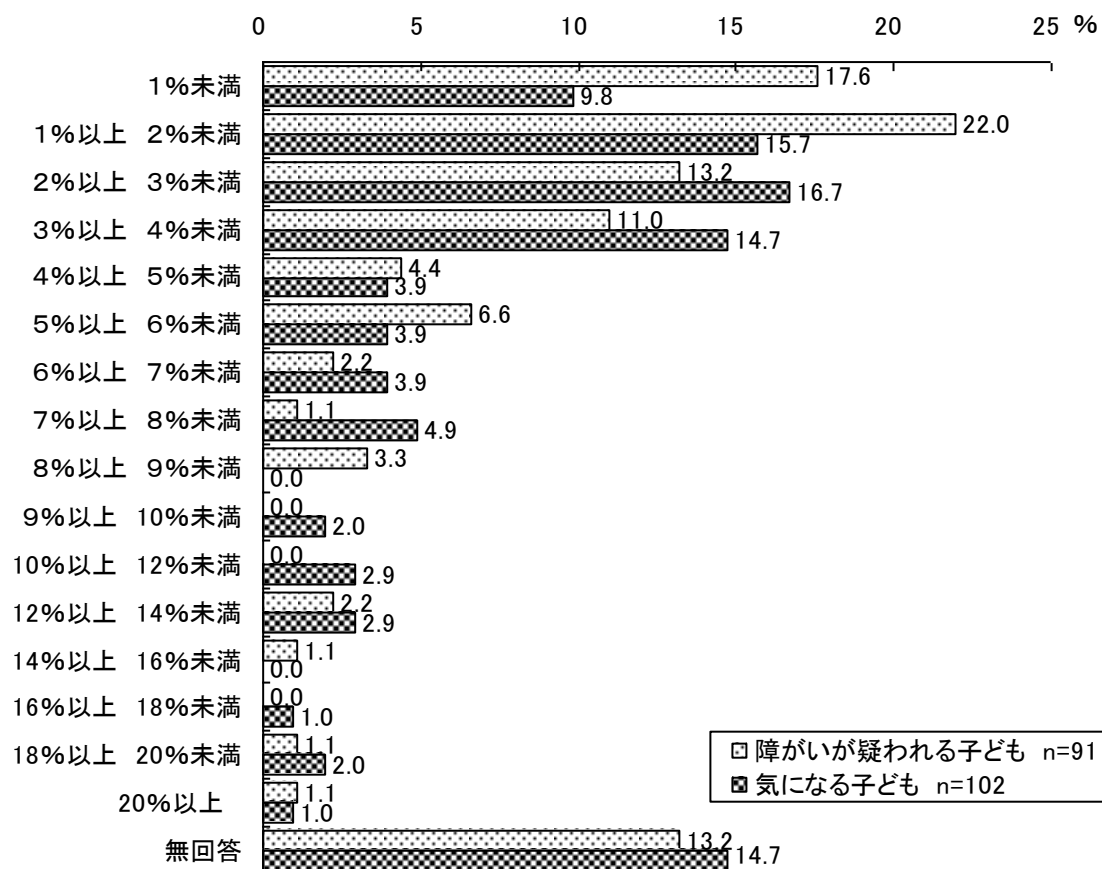


図表 3 6 気になる子どもの有無／担任（単数回答）

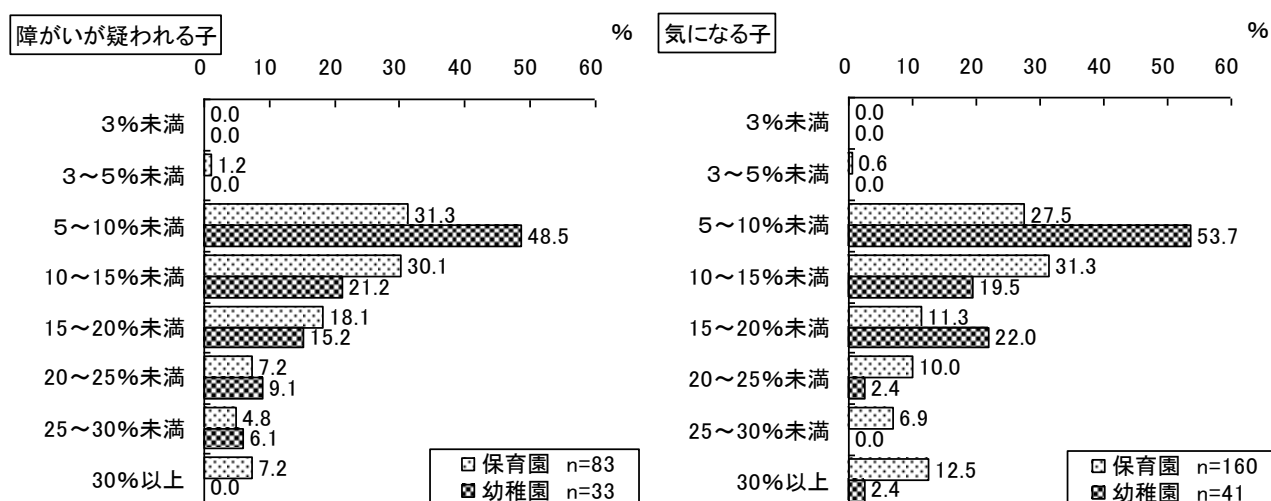


- ・園で障がいが疑われる子どもの割合（園児数に対する比率）及び気になる子どもの割合をみると、4%未満の分布が多くなっています。
- ・担当クラスで障がいが疑われる子どもや気になる子どもの割合（クラスの人数に対する比率）は、5～10%未満が多く、中には30%以上もみられます。

図表37 障がいが疑われる子ども・気になる子どもの割合／園長（数量回答）



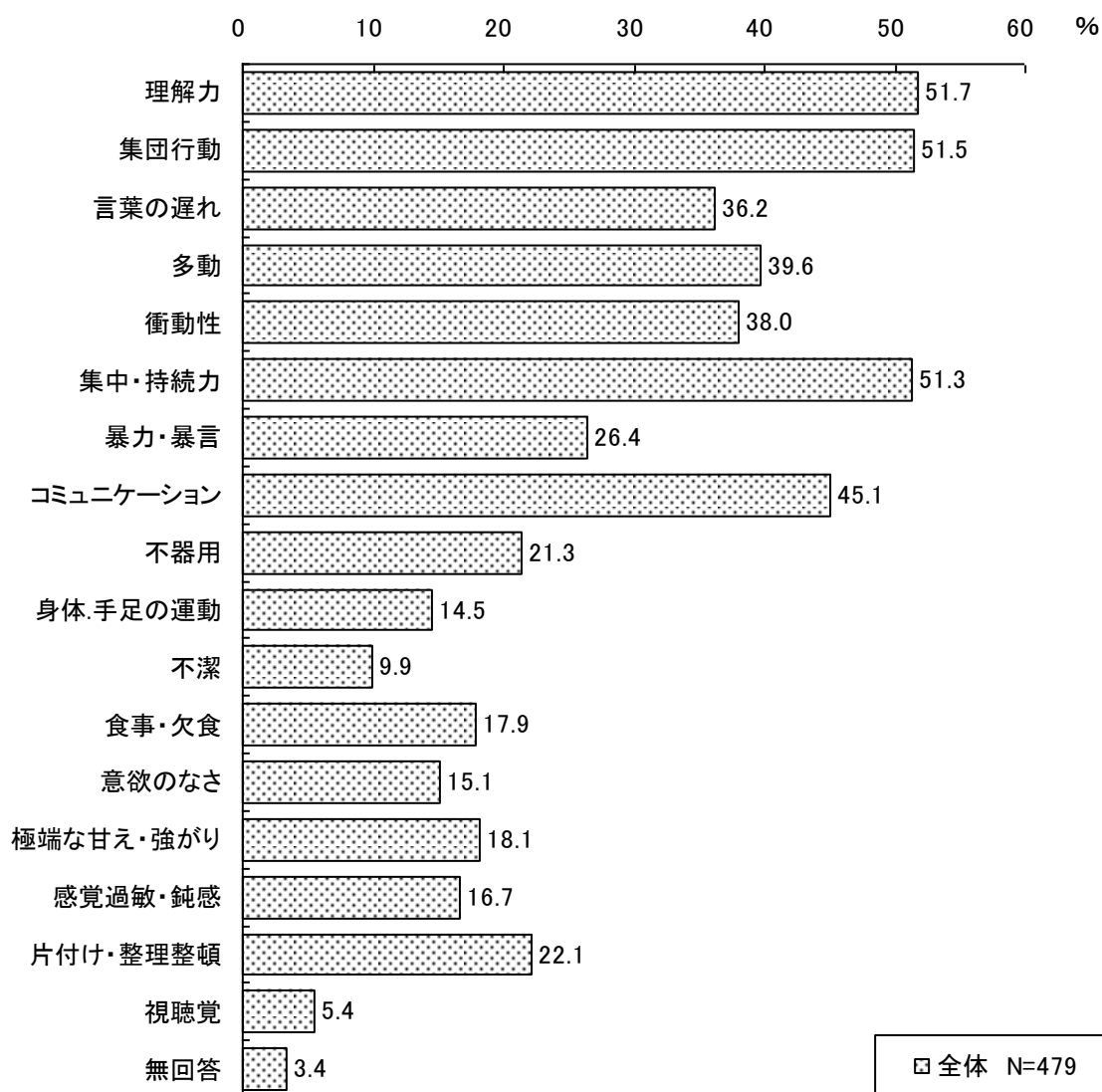
図表38 障がいが疑われる子ども・気になる子どもの割合／担任（数量回答）



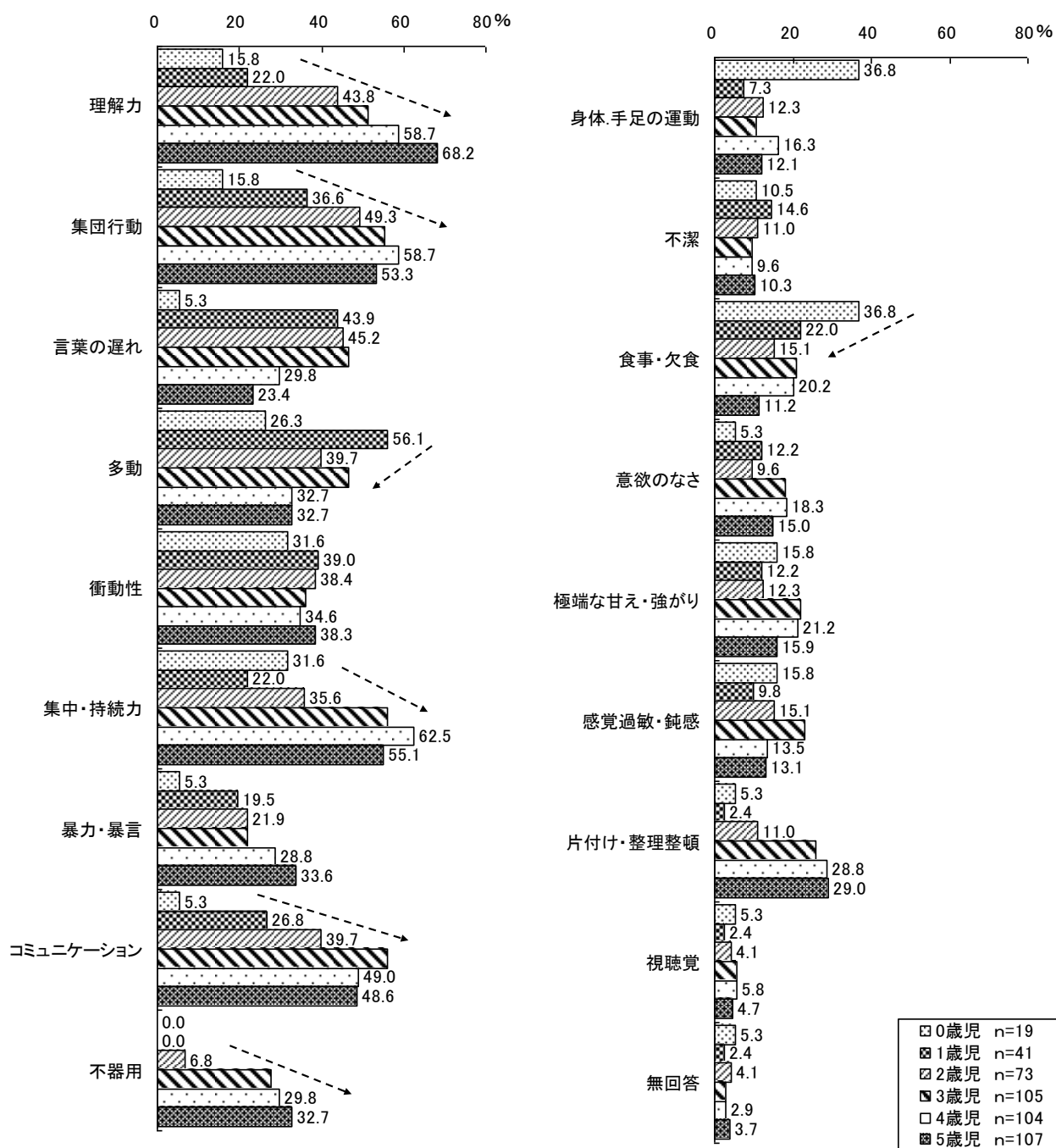
● 障がいが疑われる子ども、気になる子ども（たち）の行動、生活の様子で気になることはどのようなことですか。 担11-1

- ・気になる子との内容をみると、「理解力不足」「集団行動」「集中力・持続力」が半数強、次いで「コミュニケーション」が半数弱、「多動」「衝動性」「言葉の後れ」が4割弱となっています。

図表 3 9 生活の様子で気になること（複数回答）



図表40 年齢×生活の様子で気になること（複数回答）

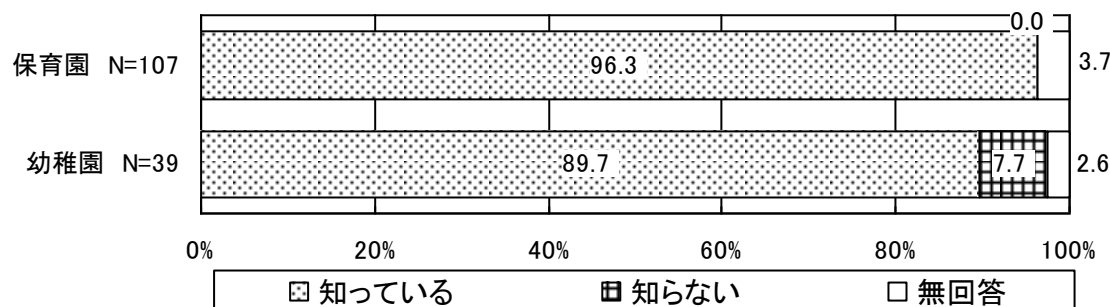


5 障がい児保育・特別支援教育に対する補助制度等について

● 障がい児保育(保育園)・特別支援教育(幼稚園)に対する補助制度をご存知ですか。園11

- ・ 9 割の園が補助制度について知っています。

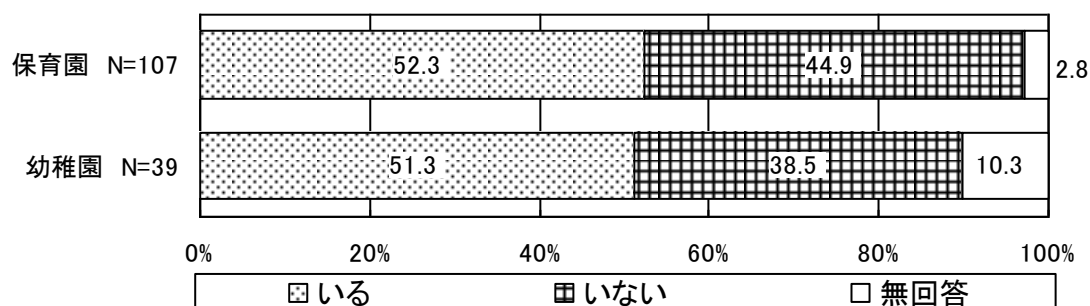
図表 4 1 補助制度について (単数回答)



● 【全園記入】私立園においては、障がい児保育補助金を申請し、補助金を園が受給しているお子さんは、いらっしゃいますか。また、公立園においては、保育士の加配を受けているお子さんはいますか。園12

- ・ 半数の園で補助金や加配を受けています。

図表 4 2 補助金の受給・加配について (単数回答)

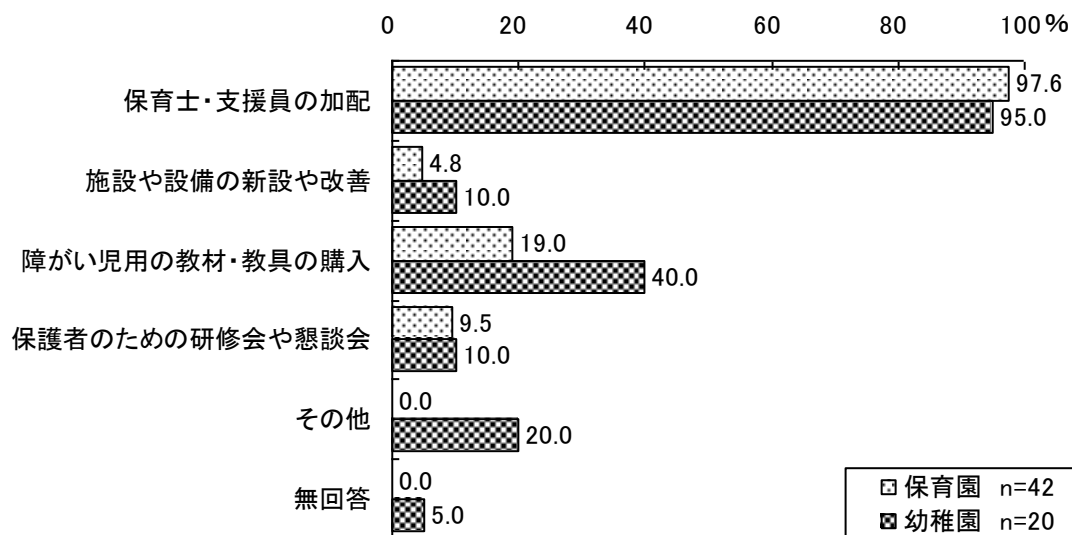


【私立保育園・幼稚園の方にお尋ねします】

● 障がい児保育補助金は、どのように使っていますか。園13

- ・補助金の使い方は、殆どの私立園で保育士・支援員の加配に使われています。

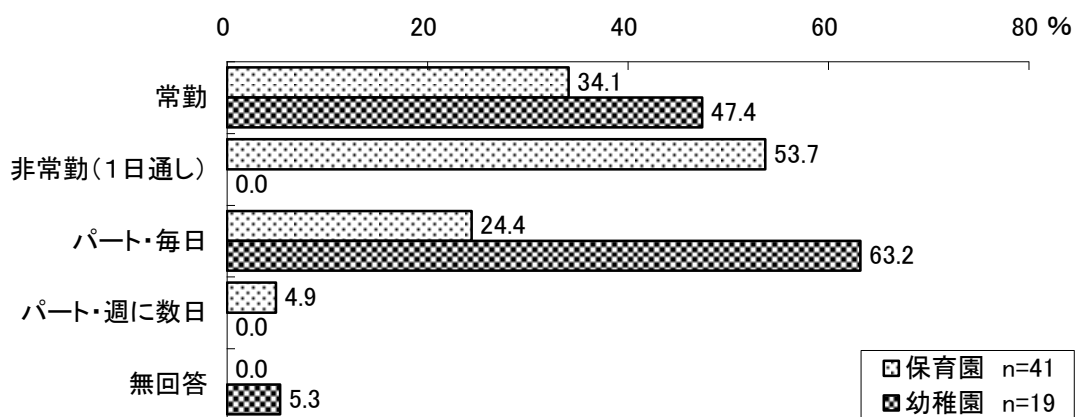
図表 4 3 補助金の使い方（単数回答）



● 「1 保育士・教諭の加配」の具体的な状況についてお答え下さい。園13-1

- ・保育園では、「非常勤（1日通し）」が5割弱と最も多く、次いで、「常勤」が1／3となっています。また、幼稚園では、「パート・毎日」が6割強、「常勤」が5割弱となっています。

図表 4 4 加配の状況（複数回答）

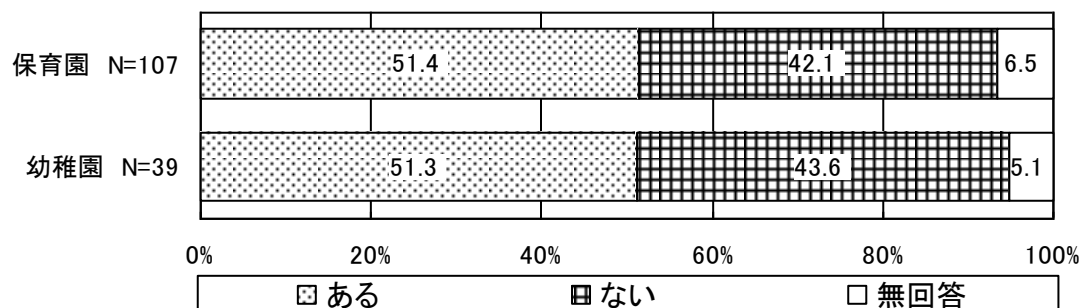


6 判定意見書等について

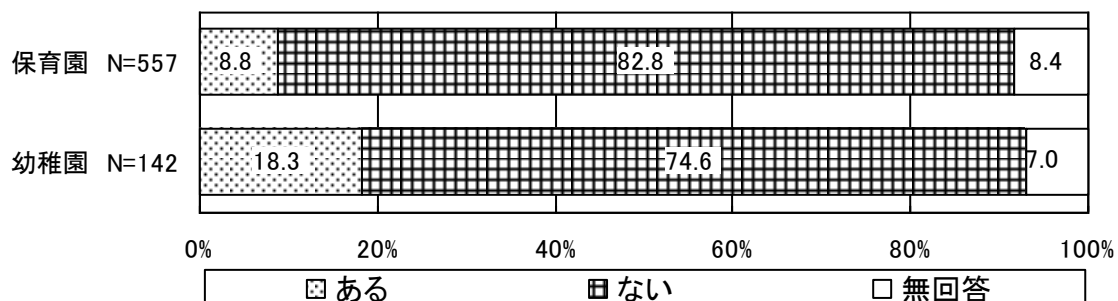
- 判定意見書を保護者に依頼されたことはありますか。園 15 担 12
- 「ある」と回答した方は、どのように依頼したかを教えて下さい。園 15-1 担 12-1

- ・ 保育園、幼稚園ともに半数の園で判定意見書を依頼したことがあります。
- ・ 担任では、保育園では1割弱、幼稚園では2割弱となっています。
- ・ 依頼した方法は、園長・担任ともに「判定意見書の申請が加配につながり、子どもをより良く手厚く指導・支援できるようになると説明し、保護者も理解した」がともに8割前後となっています。

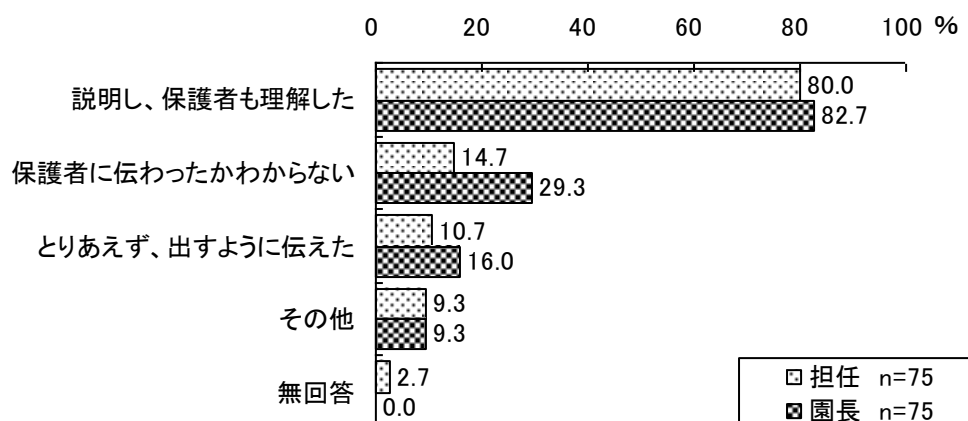
図表 4 5 意見書を保護者に依頼したこと／園長（複数回答）



図表 4 6 意見書を保護者に依頼したこと／担任（複数回答）



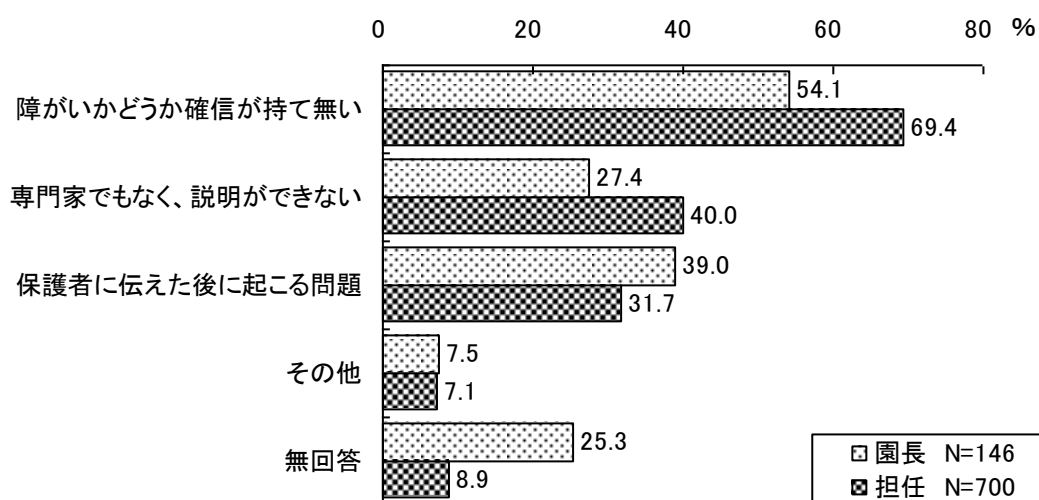
図表 4 7 意見書を依頼した方法／（複数回答）



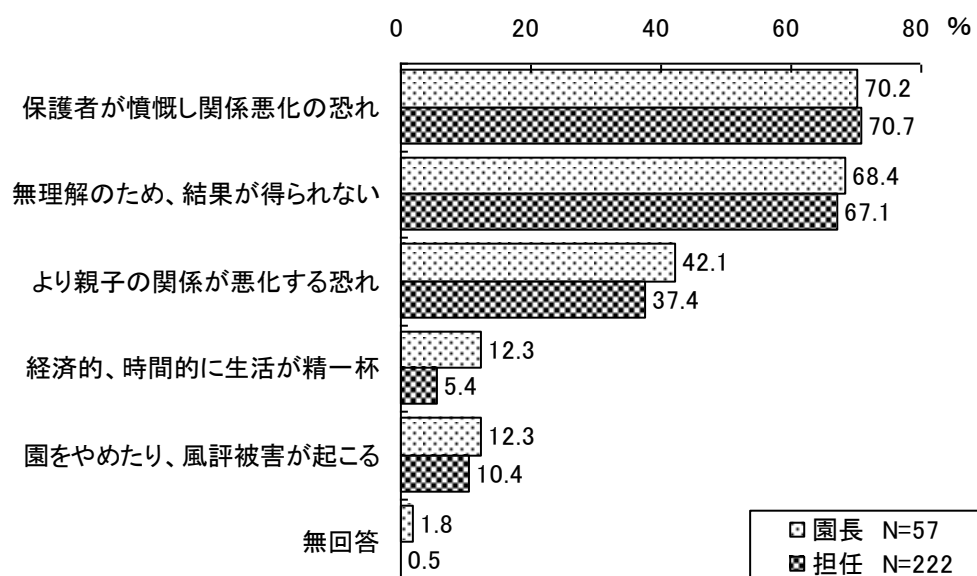
- 手帳や判定意見書の提出を保護者に求められない、または、求めにくい理由を教えてください。 園16 担13
- 具体的にどのようなことが予想されますか。 園16-1 担13-1

- ・意見書を求められない又は求めにくい理由は、「障がいが疑われる子どもや気になる子どもが、本当に障がいなのかどうか、個人差や生育環境なのか、受診を勧める状況なのか確信が持て無いから」が最も多く、園長では5割強、担任では7割弱となっています。
- ・具体的に予想される問題は、園長・担任とも同様な傾向で、「保護者が憤慨し、園や保育士・教諭との関係が悪くなることへの恐れ」が7割、「保護者が子の状況無理解のため受け入れられず、伝えてもよい結果が得られないと考えるから」が7割弱となっています。

図表 4 8 判定意見書の提出を保護者に求められない理由（複数回答）



図表 4 9 判定意見書の提出を保護者に求めた後に予想されること（複数回答）

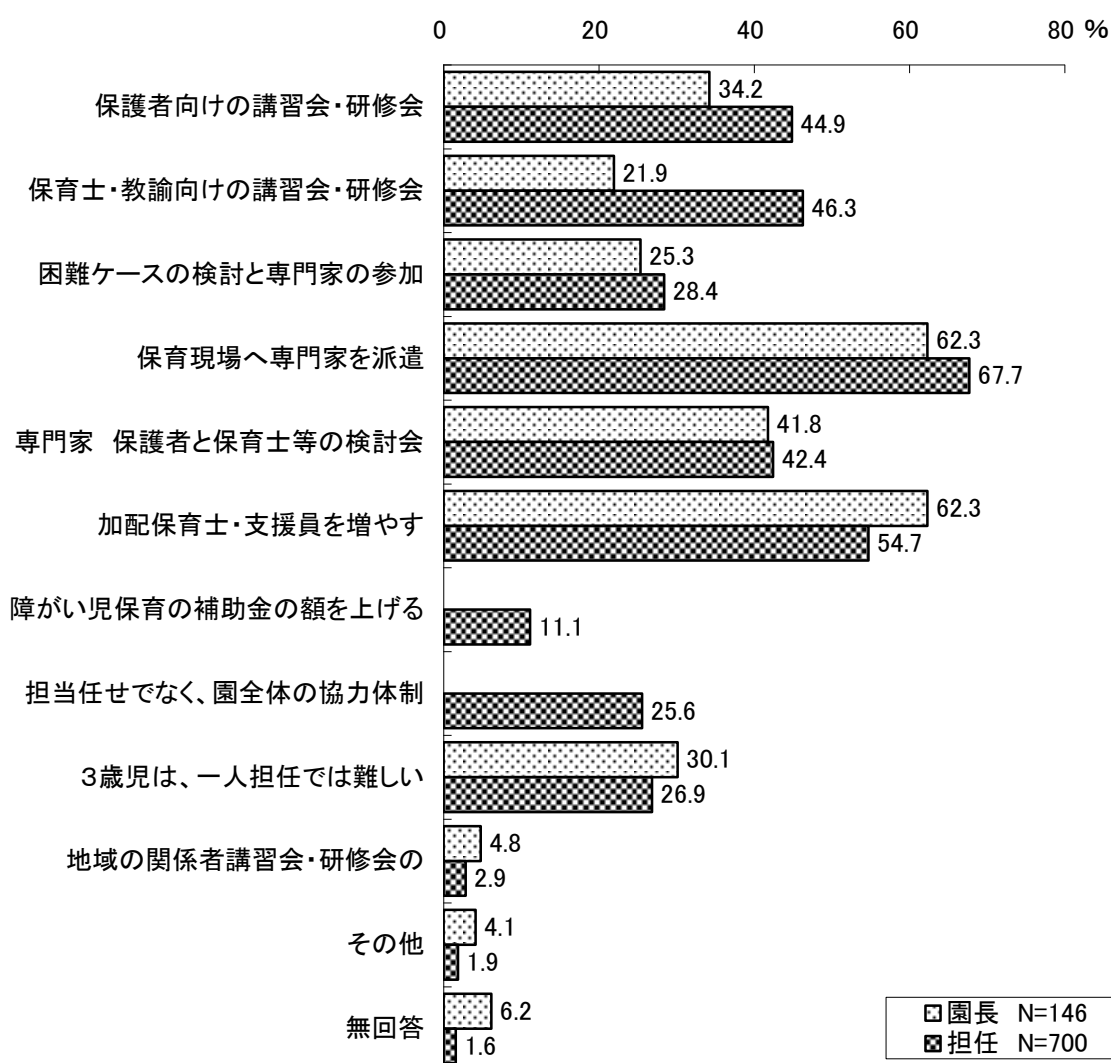


7 障がい児保育等に対する支援全般について

● 障がい児保育や気になる子どもたちへの対応が安心してできるためには、どの様な支援が欲しいですか。園17 担14

- ・園長、担任ともに「園へ専門家を派遣、子どもの状況の把握と具体的対応への助言・指導」が最も多く、次いで、「保育士・支援員の加配や障がい児保育の補助金を増やす」となっています。講習会・研修等に対しては、園長よりも担任の方が支援を求める声が高くなっています。

図表50 障がい児保育や気になる子どもたちへの対応全般について（複数回答）

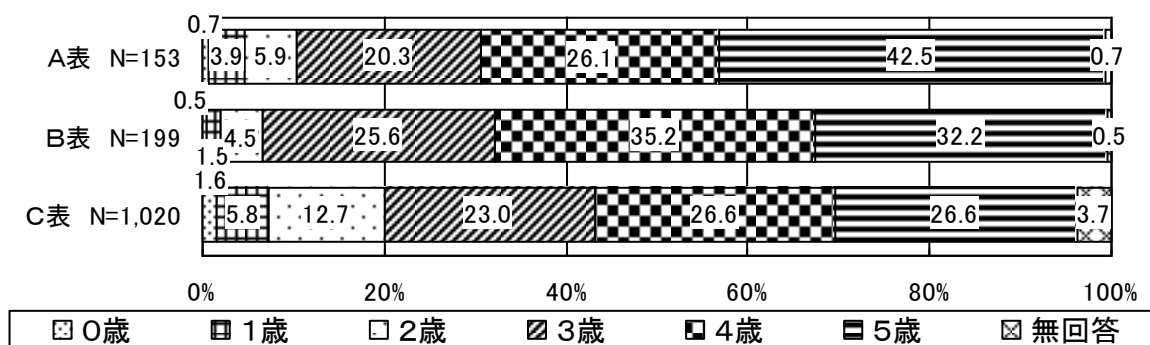


8 手帳・障がい児保育補助金等の状況（別表）

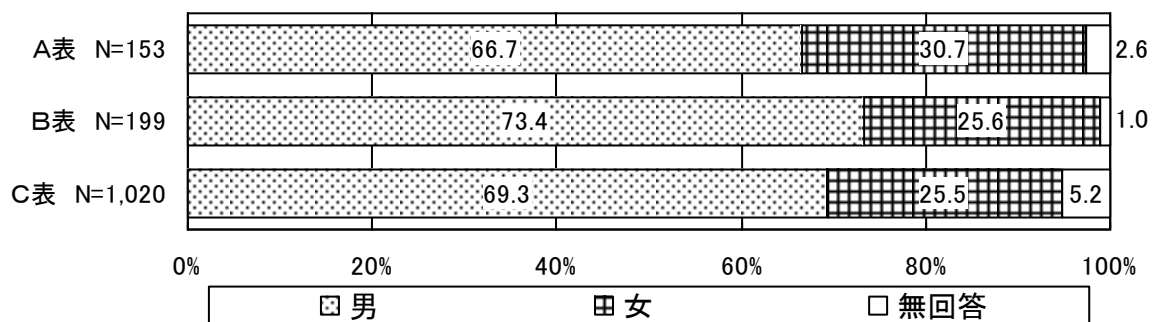
- 療育手帳・身体障害者手帳・境界域の状況（A表）
- 判定意見書の診断名（B表）
- 障がいの疑いや気になる行動、生活の様子（C表）

- ・各表ともに4・5歳の割合が高くなっています。また、男子が7割前後を占めています。
- ・手帳の種別をみると、療育手帳・Bが1／3と最も多く、療育手帳全体では3／4を占めています。また、身体障害者手帳は14.0%、境界域は12.4%となっています。

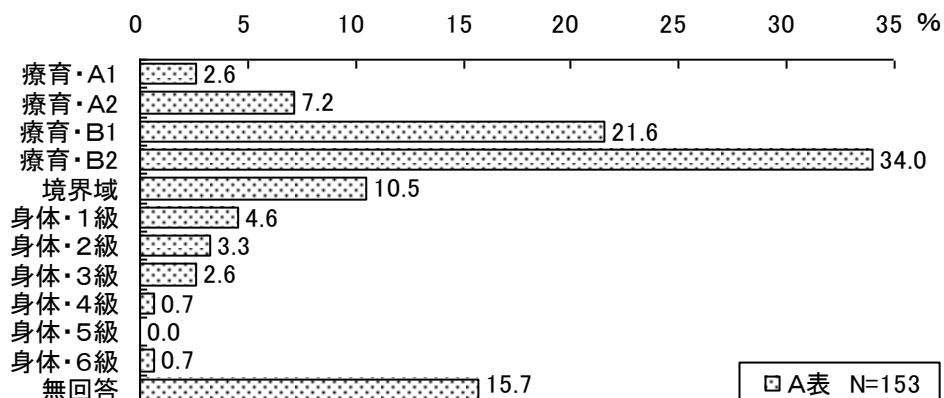
図表 5 1 年齢（数量回答）



図表 5 2 性別（複数回答）

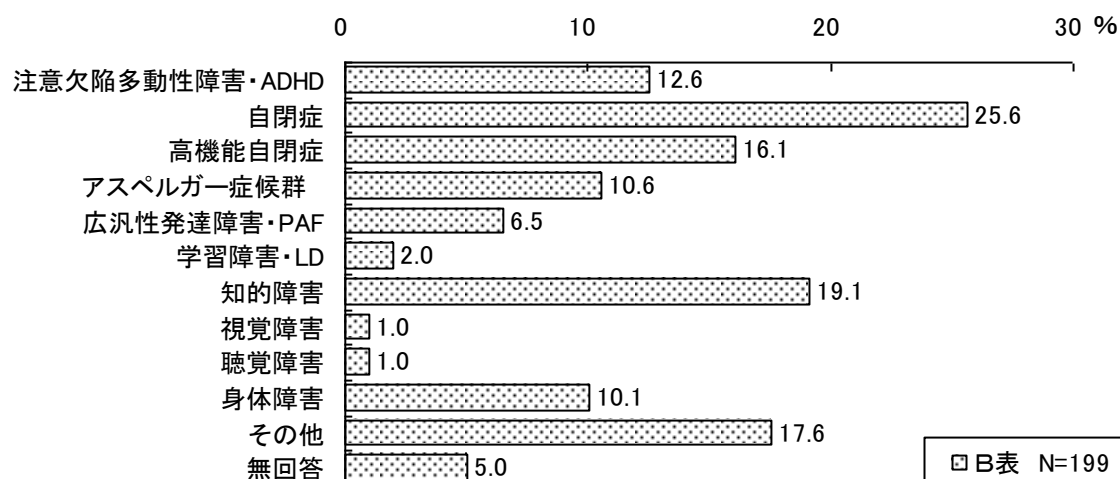


図表 5 3 手帳種類別の所持状況（複数回答）

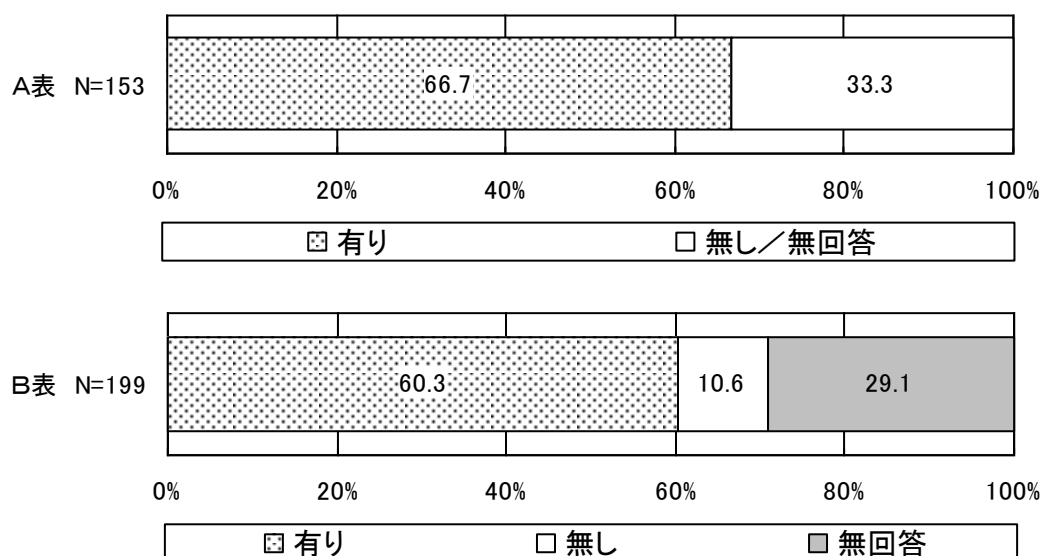


- ・判定意見書の診断をみると、「自閉症」が1／4、「高機能自閉症」とあわせると、4割強となっています。
- ・手帳所有者（A表）の園児の2／3、判定意見書（B表）の園児の6割が補助金を受けています。

図表5 4 判定意見書の診断（複数回答）

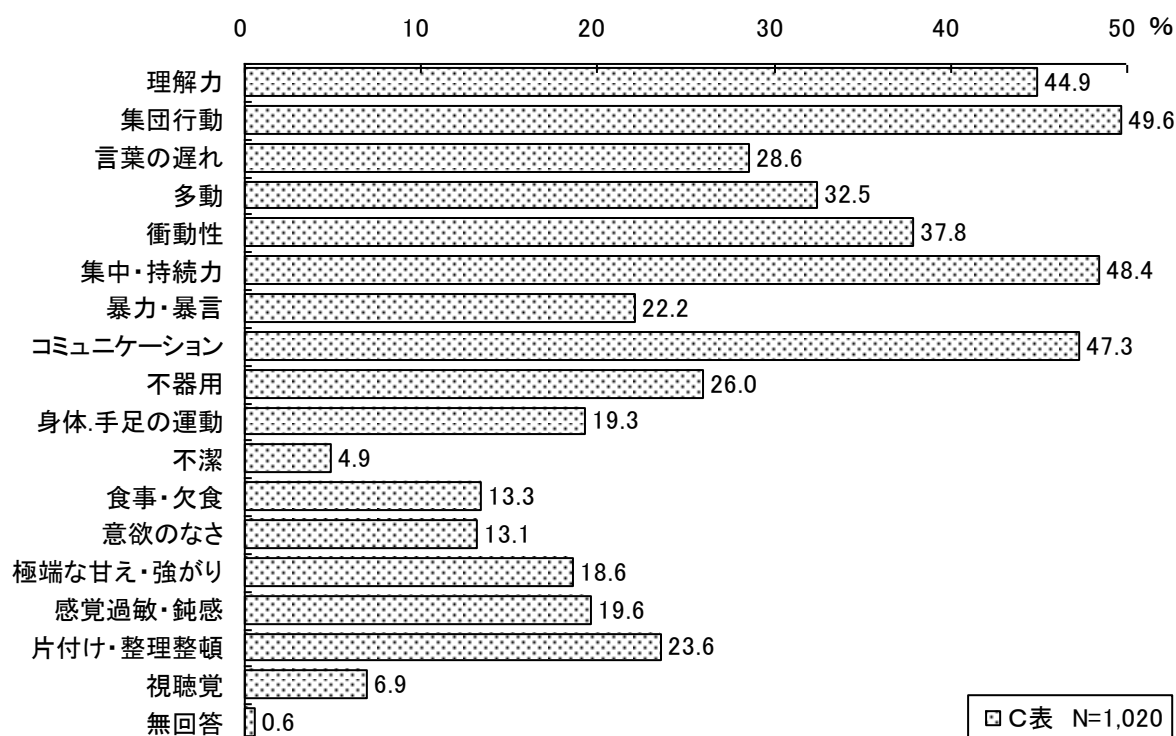


図表5 5 補助金の状況（単数回答）

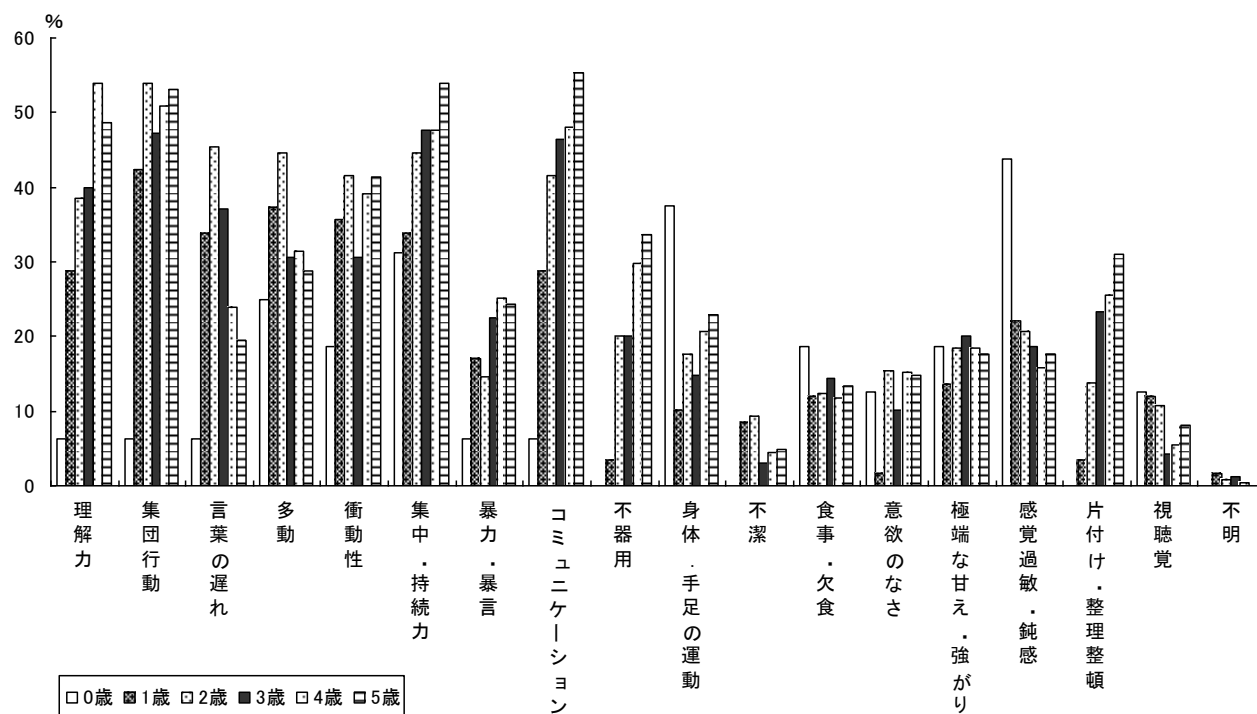


- ・ 気になる子の様子は、「集団行動」「集中・持続力」「コミュニケーション」が5割弱と多く、次いで、「理解力」が4割強となっています。

図表56 気になる子の様子（複数回答）



図表57 年齢別・気になる子の様子（複数回答）



9 資料編（アンケート調査票）

園長用アンケート調査票

問1 貴園はつぎのうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

1 公立保育園	2 私立保育園	3 公立幼稚園	4 私立幼稚園
---------	---------	---------	---------

問2 貴園の地域を教えてください。（1つに○）

1 東部地域	3 中央地域	5 北部地域
2 西部地域	4 南部地域	6 富合地域

問3 貴園のクラス数、在籍園児数（10月1日現在）を教えてください。（数値で具体的に記入）

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
クラス数						
在籍園児数	人	人	人	人	人	人

問4 現在、貴園ではどのような保育サービスを行っていますか。（複数回答可・○はいくつでも）

1 延長保育・朝（午前__時～午前__時）	6 児童デイサービス
2 延長保育・夕（午後__時～午後__時）	7 一時預かり
3 放課後預かり（午後__時まで）	8 園開放事業
4 子育て支援センター・子育て支援事業	9 その他 []
5 夏季保育・長期休暇の預かり	

問5 前問の保育サービスを行うための人員体制についてお尋ねします。（複数回答可・○はいくつでも）

1 それぞれの事業ごとに（常勤、非常勤、パート）職員を雇っている
2 常勤の保育士・教諭が当番で早出、遅出などの勤務を行っている
3 常勤の保育士・教諭が一人以上入り、非常勤やパート職員と一緒にいる
4 常勤の保育士・教諭が保育と兼務している
5 残業で行っている
6 その他 []

問6 現在、貴園では障がい児保育・特別支援教育を実施していますか。（1つに○）

*以下、「障がい児保育・特別支援教育」をあわせて、「障がい児保育」と記述させていただきます。

1 実施している
2 現在は実施していないが、過去5年以内に実施したことがある
3 実施していない。また、過去5年以内に実施したことがない

6-1 現在、障がい児保育を実施していない理由を教えてください。（複数回答可・○は3つまで）

1 たまたま入園希望児や在園児に障がい児がいなかった
2 時間外保育や子育て支援事業等の保育サービスの運営など日常業務で手一杯なため
3 障がいの状態により、集団保育が難しい。集団保育に適合する子どもがいなかった
4 過去に障がい児保育をして困難を感じたため
5 保護者が障がいの受け入れが出来ていなかったため
6 障がい児保育は園の方針により、実施しないことにしている
7 その他 []

問 7 障がい児保育を実施しない、または、受け入れに条件や制限を行っている理由を教えてください。
(複数回答可・〇は3つまで)

- 1 幼稚園・保育園、保育士・教諭の漠然とした不安
- 2 障がいに関する知識や障がい児保育に関する技能、対応方法などに不安があるから
- 3 障がい児保育の補助金では、保育士・教諭の加配が困難なため
- 4 障がい児保育の補助金では、施設の改善等が難しいため
- 5 事故や怪我（障がい児本人や周りの子どもに）などが起こった場合の責任などが心配
- 6 園の生活の中での具体的対応法や技能に関して、外部からの専門的支援が不十分なため
- 7 在園児の保護者の理解を得るのが難しいと思うため
- 8 マーケティングなど園が力を入れてきた保育・教育活動に支障をきたすから
- 9 保護者が障がいを認めていないと、園生活で起こる諸問題について話がしにくく、一緒になって協力し子育て、保育を行うことが難しいため。
- 10 特に条件や制限を設けていない
- 11 その他 []

問 8 今後、機会があった時、障がい児保育を実施することは、ありますか。(1つに〇)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 実施する | 2 条件次第 | 3 実施しない |
|--------|--------|---------|

問 9 次の手帳等を所持している園児はいますか。(それぞれ1つに〇、また、「いる」場合は人数を記入してください。さらに詳しい内容は、A表(P6)にご記入下さい。)

(1)療育手帳	1 いる (人)	2 いない
(2)身体障害者手帳	1 いる (人)	2 いない
(3)判定意見書	1 いる (人)	2 いない

問 10 手帳も判定意見書も持たないが、園児の中に「(1)障がい疑われる子ども」、「(2)生活、親子・家族関係、虐待、情緒など気になる子ども」はいますか。(それぞれ1つに〇、また、「いる」場合は人数を記入してください。さらに詳しい内容は、C表(P8)に、ご記入下さい。)

(1)障がい疑われる子ども	1 いる (人)	2 いない
(2)気になる子ども	1 いる (人)	2 いない

*C表(P8)は、各クラス担任の先生に記入をお願いします。このため、大変お手数をおかけいたしますが、年齢の低いクラスから順次記入していただき、全クラスにまわしてご記入をお願いします。

問 11 障がい児保育(保育園)・特別支援教育(幼稚園)に対する補助制度をご存知ですか。(1つに〇)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

※「障がい児保育補助制度」とは、人件費又は障がい児保育に必要と認められる施設整備費、補助具等購入費として、一人当たり中度の障がいは月額 70,600 円、軽度の障がいは月額 40,100 円交付する制度。

※「特別支援教育補助制度」とは、主として人件費の補助として障がい児一人(在園時は、年額 392,000 円(県単独補助)、二人以上在園の時は、一人当たり年額 784,000 円(国、県)の補助金を交付する制度。

問 12 【全園記入】私立園においては、障がい児保育補助金を申請し、補助金を園が受給しているお子さんは、いらっしゃいますか。また、公立園においては、保育士の加配を受けているお子さんはいますか。（1つに○）

1 いる	2 いない
---	-------

↓
A表（P 6）・B表（P 7）の該当する欄に、必要事項をご記入下さい。
（公立園記入例・加配が、週3日12時間のときは3－12）

問 13 【私立保育園・幼稚園の方にお尋ねします】 ※公立園は、問 14 にお進みください。
障がい児保育補助金は、どのように使っていますか。（複数回答可・○はいくつでも○）

- 1 保育士・支援員の加配
 - 2 施設や設備の新設や改善（例・段差解消や洋式便器、床材などの変更等）
 - 3 障がい児用の教材・教具の購入
 - 4 保護者のための研修会や懇談会など
 - 5 その他 []

13-1 「1 保育士・教諭の加配」の具体的な状況についてお答え下さい。（あてはまるものに○。また、パートの場合は、時間数を数値で記入して下さい。）

- 1 常勤
 - 2 非常勤（1日通し）
 - 3 パート・毎日（1日当たり _____ 時間）
 - 4 パート・週に数日（1週間あたり _____ 時間）

問 14 個別的な支援を要するお子さんの中で、各種手帳、判定書などの提出が無く、障がい児保育の補助金や加配の申請が行えないため、安全の確保や、保育に支障をきたしていることがありますか。（1つに○）

1 ある	2 ない → 問 15 にお進み下さい
---	--

14-1 「1 ある」と回答した方は、その理由を教えてください。（複数回答可・○は3つまで）

- 1 保育士・教諭の気をひくための逸脱行動が多く、安心して保育ができない
 - 2 保育・教育活動の内容が制限される（静かによく聞く・根気よく取り組む活動等が困難）
 - 3 クラスでの集団活動に支障がある
 - 4 保育・教育活動に集中できない
 - 5 他の保護者から苦情がある
 - 6 個別的な支援を要する子どもの保護者が認めていないため周りとのトラブルがある
 - 7 保育士・教諭の加配に補助金が出ないため園の持ち出しとなる
 - 8 その他 []

問 15 判定意見書を保護者に依頼されたことはありますか。(1つに○)

1 ある

2 ない

→問 16 にお進み下さい

15-1 「ある」と回答した方は、どのように依頼したかを教えてください。(複数回答可・○はいくつでも)

- 1 判定意見書の申請が加配につながり、子どもをより良く手厚く指導・支援できるようになると説明し、保護者も理解した
- 2 一応の説明はしたつもりだが、保護者にどこまで伝わったかわからない
- 3 とりあえず、判定意見書を医療機関や子ども発達支援センター等で書いてもらい、出すように伝えた
- 4 その他 []

問 16 手帳や判定意見書の提出を保護者に求められない、または、求めにくい理由を教えてください。(複数回答可・○はいくつでも)

- 1 障がい疑われる子どもや気になる子どもが、本当に障がいなのかどうか、個人差や生育環境なのか、受診を勧める状況なのか確信が持てないから
- 2 専門家でもなく、障がいのことを熟知していないため、保護者が納得して、受診や療育に動いてくれるような十分な説明ができない
- 3 保護者に伝えた後に起こる問題や結果について、不安や効果に疑問があるから
- 4 その他 []

16-1 具体的にどのようなことが予想されますか。(複数回答可・○はいくつでも)

- 1 保護者が憤慨し、園や保育士・教諭との関係が悪くなることへの恐れ
- 2 保護者が子の状況無理解のため受け入れられず、伝えてもよい結果が得られないと考えるから
- 3 言ったことで、より親子の関係が悪化し、不安定になり、問題が強まる恐れがある
- 4 経済的、時間的に生活が精一杯なため、伝えても無理だと考えるから
- 5 園をやめたり、周りに言ってしまう、風評被害が起こることへの不安

問 17 障がい児保育や気になる子どもたちへの対応が安心してできるためには、どの様な支援が欲しいですか。(複数回答可・○は3つまで)

- 1 保護者向けの障がいに関する講習会・研修会の実施
- 2 保育士・教諭向けの障がいに関する講習会・研修会の実施
- 3 困難ケースの検討と個別支援計画会議への専門家の参加による助言・指導
- 4 園へ専門家を派遣、子どもの状況の把握と具体的対応への助言・指導
- 5 保育士・支援員の加配や障がい児保育の補助金を増やす
- 6 園での専門家による子どもの検査などの客観評価と保護者と保育士・教諭と専門家の三者による相談・検討会の実施
- 7 3歳児が一人担任だと難しく、何らかの緩和の方策を講じて欲しい(クラスの人数減や支援員の配置、複数担任制が取れることなど)
- 8 地域の関係者向けの障がいに関する講習会・研修会の実施
- 9 その他 []

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid black vertical line along the left edge, creating a margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

園 名		記 入 者	
-----	--	-------	--

35

別 表

A表

年齢 ○歳児	性別	療育手帳				境界域	身体障害者手帳					補助金有	加配時間
		A1	A2	B1	B2		1級	2級	3級	4級	5級		
例	男・女												
1	男・女												
2	男・女												
3	男・女												
4	男・女												
5	男・女												
6	男・女												
7	男・女												
8	男・女												
9	男・女												
10	男・女												
11	男・女												
12	男・女												
13	男・女												
14	男・女												
15	男・女												
16	男・女												
17	男・女												
18	男・女												
19	男・女												
20	男・女												
21	男・女												
22	男・女												
23	男・女												
24	男・女												
25	男・女												
26	男・女												
27	男・女												
28	男・女												
29	男・女												
30	男・女												

B表

年齢	性別	判定意見書の診断名										※該当する欄に「○」をつけて下さい	補助金	加配時間
○歳児		A D H D 注 意 欠 陥 多 動 性 障 害 ・	自 閉 症	高 機 能 自 閉 症	ア ス ペ ル ガ ー 症 候 群	P D D 広 汎 性 発 達 障 害 ・	L D 学 習 障 害	知 的 障 害	視 覚 障 害	聴 覚 障 害	身 体 障 害	そ の 他		<例> 週3日5時間 W3-5
例	男・女												あり・なし	
1	男・女												あり・なし	
2	男・女												あり・なし	
3	男・女												あり・なし	
4	男・女												あり・なし	
5	男・女												あり・なし	
6	男・女												あり・なし	
7	男・女												あり・なし	
8	男・女												あり・なし	
9	男・女												あり・なし	
10	男・女												あり・なし	
11	男・女												あり・なし	
12	男・女												あり・なし	
13	男・女												あり・なし	
14	男・女												あり・なし	
15	男・女												あり・なし	
16	男・女												あり・なし	
17	男・女												あり・なし	
18	男・女												あり・なし	
19	男・女												あり・なし	
20	男・女												あり・なし	
21	男・女												あり・なし	
22	男・女												あり・なし	
23	男・女												あり・なし	
24	男・女												あり・なし	
25	男・女												あり・なし	
26	男・女												あり・なし	
27	男・女												あり・なし	
28	男・女												あり・なし	
29	男・女												あり・なし	
30	男・女												あり・なし	

* 自閉症で知的障害を伴う時は、自閉症と知的障害に○をつけてください。上の表に診断名が無い時は、その他のところに診断名を書き込んでください。

C表

年齢	性別	障害の疑いや気になる行動、生活の様子											※該当する欄に「○」をつけて下さい					
○歳児		理解力	集団行動	言葉の遅れ	多動	衝動性	集中・持続力	暴力・暴言	コミュニケーション	不器用	身体・手足の運動	不潔	食事・欠食	意欲のなさ	極端な甘え・強がり	感覚過敏・鈍感	片付け・整理整頓	視聴覚
例	男・女																	
1	男・女																	
2	男・女																	
3	男・女																	
4	男・女																	
5	男・女																	
6	男・女																	
7	男・女																	
8	男・女																	
9	男・女																	
10	男・女																	
11	男・女																	
12	男・女																	
13	男・女																	
14	男・女																	
15	男・女																	
16	男・女																	
17	男・女																	
18	男・女																	
19	男・女																	
20	男・女																	
21	男・女																	
22	男・女																	
23	男・女																	
24	男・女																	
25	男・女																	
26	男・女																	
27	男・女																	
28	男・女																	
29	男・女																	
30	男・女																	

保育士・教諭用アンケート調査票

問 19 貴園はつぎのうちどれにあてはまりますか。(1 つに○)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1 公立保育園 | 2 私立保育園 | 3 公立幼稚園 | 4 私立幼稚園 |
|---------|---------|---------|---------|

問 20 貴園の所在地（地域）を教えてください。（1つに○）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 東部地域 | 3 中央地域 | 5 北部地域 |
| 2 西部地域 | 4 南部地域 | 6 富合地域 |

問 21 先生が担当しているクラスを教えてください。(1つに○)

- | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|------------------------------|
| 1 | 0歳児 | 4 | 3歳児 | 7 | その他 [] |
| 2 | 1歳児 | 5 | 4歳児 | | |
| 3 | 2歳児 | 6 | 5歳児 | | |

問 22 先生が担当している「クラスの人数」(10月1日現在)を教えてください。(数値で具体的に記入)

人

問 23 先生の「保育士又は教諭としての経験年数」を教えてください。(数値で具体的に記入)

約	年
---	---

問 24 現在、先生は障がい児保育・特別支援教育を担当していますか。(1つに○)

*以下、「障がい児保育・特別支援教育」をあわせて「障がい児保育」と総称し、記述します。

- | |
|-------------------------------|
| 1 担当している |
| 2 現在は担当していなが、過去5年以内に担当したことがある |
| 3 担当していない |

問 25 現在、障がい児保育を担当している先生は、今後も担当したいと思いますか。また、現在は担当していない先生は、障がい児保育を担当したいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 ぜひ担当したい | 4 できれば担当したくない |
| 2 担当したい | 5 担当したくない |
| 3 迷いがある | |

問 26 障がい児保育を担当したいと思う理由、或いは、担当した場合、どのようなことが期待できますか。(複数回答可・○は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1 | 日ごろ見逃してしまいそうなことも、改めて考え、工夫し勉強になる（なった） |
| 2 | 母親の気持ちや、家族のあり方、役割がよく分かり、保育士・教諭としての家族との関わり方やアドバイスの仕方などの勉強になる（なった） |
| 3 | 母親や家族と園が連携しながら、一人の子どもの成長に向かい合うことの大切さと喜びが分かる（分かった） |
| 4 | 障がいの特性や対応法が分かり、具体的な対応を考えたり教材を作ることの面白さがある（あった） |
| 5 | 障がいのある子どもも、他の子どもと違う異質な存在ではなく、多くの共通性があり周りの環境や友達集団とのかかわりの中で育ち合っていくことが分かる（分かった） |
| 6 | 園外の方と連携をとりながら仕事をする（助言・指導や検討会他）ことで、保育・教育することの安心と面白さを体験したい（体験した） |
| 6 | 特に理由や期待はない |
| 7 | その他 [] |

問 27 障がい児保育を担当するうえでの不安、或いは、担当したくないと思う理由を教えてください。
(複数回答可・○は5つまで)

- 1 園、保育士・教諭の漠然とした不安
- 2 障がいに関する知識や障がい児保育に関する技能、対応方法などに不安がある
- 3 一人担任では手が回らず、危険も伴い、事故などが心配なため、加配が必要
- 4 一生懸命にやっても成果が上がらないと、自己嫌悪に陥り保育士・教諭としての自信が喪失する
- 5 自分がしていることが正しいのか誤っているのか判断が付かず自信がもてない
- 6 クラス担任制で保育しているため、助言や指導が現場の保育士・教諭同士ではしにくく、孤立感がある
- 7 園の生活の中での具体的対応法や技能に関して、外部からの専門的な支援が不十分
- 8 在園児の保護者の理解を得るのが難しいと思うため
- 9 マーチングなど園の力を入れてきた保育活動に支障をきたすから
- 10 保護者の望みが高く専門的であり、それに応えきれない
- 11 家庭ですべきことも園ですべき義務のようにして保護者から責められる
- 12 園や保育士・教諭の実情を理解しようとする気持ちが保護者に感じられない
- 13 保護者が、子どもの問題を理解せず、受け入れない様子を感じると、話さなければと思っても、話せないことが多く一人で抱え込んでしまい苦しい
- 14 多くの教材作成や、構造化などしなければいけない仕事が山積みになり負担が大きい
- 15 延長保育、一時保育、子育て支援など園で実施している仕事で手一杯でそこまでの時間や気持ちの余裕がない
- 16 特にない
- 17 その他 []

問 28 個別的な支援を要するお子さんの中で、各種手帳、判定書などの提出が無く、障がい児保育の補助金や加配の申請が行えないため、安全の確保や、クラスの保育に支障をきたしていることがありますか。(1つに○)

1 ある

2 ない

10-1 「ある」と回答した方は、その理由を教えてください。(複数回答可・○は3つまで)

- 1 保育士・教諭の気をひくための逸脱行動が多く、安心して保育・教育活動ができない
- 2 保育・教育活動の内容が制限される(静かによく聞く活動・根気が要る活動などが困難)
- 3 クラスでの集団活動に支障がある
- 4 活動や指導に集中できない
- 5 他の保護者から苦情がある
- 6 危険な行動、他児への暴力などが心配
- 7 その他 []

問 32 障がい児保育や気になる子どもたちへの対応が安心してできるためには、どのような支援が欲しいですか。(複数回答可・〇は5つまで)

- 1 保護者向けの障がいに関する講習会・研修会の実施
- 2 保育士・教諭向けの障がいに関する講習会・研修会の実施
- 3 困難ケースの検討と個別支援計画会議への専門家の参加による助言
- 4 保育現場へ専門家を派遣して、保育を参観してもらい、子どもの状況の把握と具体的対応への助言をして欲しい
- 5 園での専門家による検査などの客観評価の実施とその後の保護者と保育士・教諭、関係者を交えた相談・検討会の実施
- 6 加配保育士・支援員を増やす。より良い支援をするには、人手の確保は、欠かせない
- 7 障がい児保育の補助金の額を上げる
- 8 子どもについての検討が、担当職員任せでなく、園全体の学習や研修の機会として取り組めるようなシステムと協力体制ができること
- 9 3歳児は、一人担任では難しく、何らかの緩和処置（クラスの人数を減らす、副担任をつけるなど）や園全体としてのフォロー体制を作る必要を感じる
- 10 地域の関係者向けの障がいに関する講習会・研修会の実施
- 11 その他 []

問 33 保育・教育現場で現在困っていること、運営上困っていること、その解決のために望む方策など何でも結構です。皆さんの生の声をお寄せ下さい。
下の枠内に書ききれない場合は、別の用紙をご利用いただいて結構です。

差し支えなければ、御記入願います。

園 名		記 入 者	
-----	--	-------	--

お忙しい中、ご協力ありがとうございました

御記入頂いた調査票は、小封筒に入れ封をし、返信用封筒に園長用調査表と一緒にに入れて、
11月16日（月）までにポストに投函してください。

障がい児保育に関するアンケート調査結果報告書

発行日：平成 22 年 1 月

編集：熊本市障がい者自立支援協議会 子ども部会
